

さかべ

看護協会だより

5

May.2025 vol.133

〒849-0201 佐賀市久保田町徳万1997-1
TEL.0952-68-3299 FAX.0952-68-3603
URL <http://www.saga-nurse.org>
E-mail sagagkk@coral.ocn.ne.jp
発行責任者 会長 南里 玲子



写真提供：ふじの森ホスピタル 永岡 茜

会長あいさつ
佐賀県看護研究学会を終えて
職員紹介
職能研修報告

特集：2024年度新人インタビュー
ナースセンターだより
(地域に必要な看護職確保事業、看護補助者の
確保・定着推進事業、看護職再就業支援研修会)

2025年度通常総会関係
ハーモニーランド無料ご招待
協会からのお知らせ
理事会報告、編集後記

会員数	4,781人	保健師	助産師	看護師	准看護師
	R7年5月現在	158人	95人	4,370人	158人

 佐賀県看護協会

どういふ

公益社団法人佐賀県看護協会
会長 南里 玲子



佐賀県看護協会員の皆様、日頃より看護協会の活動並び運営にご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。例年通り、あわただしく、年度末・年度始めが過ぎました。協会も数人の職員の交代等があり、新しいメンバーで職務の遂行を図る決意をしたところです。

この時期、卒業式や入学式と県内の看護師養成機関の式典にお招きをいただき、祝辞や祝意を述べる機会が多くあります。看護協会の存在を学生諸子にも知っていただこうと、役員で手分けをし、できる限り、ご案内のあった学校には何うよう工夫しておりますが、ここ数年の入学生の減少や、必ずしも全員が卒業を迎えることができない実態を目の当たりにし、人財としての看護師不足を痛感しています。

また、新人に限らず、看護職員の離職率も、全国値同様に上昇していることも気がかりのひとつです。以前のように、看護師が憧れの職業として、これから進路や将来を考える若い世代に、その魅力や責務を今以上に、届けていく必要があります。

一方で、私たち自身がいきいきと、自分の仕事に誇りと自信を持って働いている姿を、背中を、見せていくことも極めて重要です。皆さんの姿は、ご家族をはじめ周囲の方々や職場の同僚・後輩に、どのように見えておられるでしょうか？看護師が憧れの職業となるためにも、日本看護協会の3つの使命(ミッション)である、「看護の質の向上」「看護職が働き続けられる環境づくり」「看護領域の開発・展開」を中心に、看護職の様々な“困った”を解決するための活動に取り組んでいきたいと思います。

この春より新人看護職員となられた皆さん、心機一転、新たな職場や分野で再スタートをされた皆さん、新しい環境には慣れましたか？不安や緊張で、なかなかストレスフルな日々をお過ごしだと思いますが、上手に息抜きをして、不安や気がかりをつぶやいてみましょう。声を拾ってくれる人は必ずいます。また、仲間を迎えられた皆様も、共にそれぞれの場所で、頑張ってみましょう。

協会だより5月号には、6月21日に開催される通常総会に向けて、事業計画をはじめとする審議事項を事前にお知らせしています。ぜひ、ご意見をお寄せ下さい。

佐賀県看護協会は、会員の皆様のニーズに応え、関係団体とも連携しながら、公益社団法人としての期待や社会的役割を十分果たせるよう事業を推進してまいります。

会員の皆様のこれまで以上のご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



第43回 佐賀県看護研究学会を終えて

令和7年3月15日(土)に佐賀市文化会館において、第43回佐賀県看護研究学会を開催いたしました。参加者は、286名(一般参加182名、学生66名、運営委員38名)でした。今年度のテーマは、「次世代へつなぐ看護の知」で、口演7題、示説4題が選考され発表がありました。実践の場を中心に看護の質向上に取り組んでこられた成果、スタッフの健康や教育についての取組み等が発表されました。

特別講演は、「看護職の職場におけるダイバーシティ&インクルージョン～認め合おう個性を！高めよう心理的安全性を！価値観の再構成や新しいビジョンに向かって一緒に考えよう！～」というテーマで、佐賀大学医学部附属病院 リエゾン精神看護専門看護師 倉持裕子氏にご講演いただきました。

ダイバーシティとインクルージョンという言葉について、多様性を認め合うことの重要性や看護の現場における合理的配慮への実践の難しさや課題について事例を通してお話いただきました。講演の最後に話された「自分をケアすることは質の高いケアにつながる、自身を思いやり、自分のことを大切にしていきたい」との言葉が印象的でした。

さて、第44回佐賀県看護研究学会は、令和8年2月23日(月・祝)に東与賀文化ホールに於いて開催の予定です。

皆様のご応募を心よりお待ちしております。

発表者の皆様、座長および協力員の皆様心より感謝申し上げます。

文責 常務理事 前川 律子



職員紹介



事業部長 古賀 恭子

4月から事業部で勤務させていただいております古賀です。
佐賀県の看護職の方々のお役に立てるように頑張りたいと思います。
ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

ナースセンター長 山口 雅子



4月からナースセンターで勤務させていただいております山口です。
対話を重ねながら様々な形で看護職をサポートしていければと思います。
どうぞよろしくお願いいたします。

夏秋 佳代子



4月からナースセンターを担当させていただいている夏秋です。
経験豊富な看護師さんからこれから看護師を目指す方まで、思いに寄り添い、多様な働き方を尊重した就業支援に精一杯努めます。不慣れでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

「～佐賀県看護協会保健師職能の最近の活動から～」

令和6年度 保健師職能集会(令和7年2月22日)

「保健師のワークエンゲイジメントについて」

保健師職能委員長 松尾 和代

九州大学大学院保健学部門の鳩野洋子教授をお迎えし、「保健師とワークエンゲイジメント～保健師がいきいきと働くために～」というテーマで御講演いただきました。その後、新任期、中堅期、管理期に分かれてグループワークを行いました。参加者は県22名、市町2名、の計24名でした。

講演では、エドガー・H.シャインの提唱するキャリアサイクルに沿って、それぞれの時期の特徴を知り、危機や課題に対応するための保健師のワークエンゲイジメントを高める要因、個人・組織として成長するために必要なことについて学びました。また同じ年代で集まったグループワークでは、これまでを振り返り、今後いきいきと働くためにどんなことに取り組みたいか考えることができました。保健師が対応する課題も複雑困難さを抱える中、保健師として“働きがい”をもって働き続けることができる一助になればと思います。今後も引き続き保健師職能では、みなさんが学びあう機会を提供していきます。

～参加者からの感想～

- ・現任教育で新任期には言語化した指導が必要だと感じた。
- ・リフレクションを大事にしていきたい。
- ・年代別に語り合える場、時間を定期的に設けたい。



令和6年度 助産師職能研修報告

助産師職能委員長 東嶋 加奈子

令和6年11月9日(土)に「災害に備えて産科施設にできること」をテーマに研修会を開催しました。令和6年度は日本看護協会「分娩取扱施設における災害発生時の対応マニュアル作成ガイド」が改訂され、令和6年1月に能登地震が発生したこともあり、改めて災害対策の推進、見直しは各施設課題と考えました。今回、NHO佐賀病院・産婦人科医長の津村圭介医師から「災害時小児周産期リエゾンの概要説明とPEACE入力訓練」、熊本市市民病院・桑原美保看護部長(助産師)から「熊本地震の実際とその後の対策について」と2つの講演をしていただき、27名の助産師・看護師の参加がありました。

佐賀県の現状と連携システムの実際を知ることができ、PEACE入力訓練では、内容を確認しながら、実際に入力できたことは大変有意義でした。熊本地震の実際についての講演は、詳細な経験内容で身が引き締まる思いがしました。日頃の準備の大切さを感じ、具体的なイメージができる大変参考になるものでした。アンケートでも、「より多くの人に聞いてもらいたい内容だった」「自分の施設の体制を見直したい」など、各施設の災害対策に繋がる内容であったと思います。講演後のグループワークでも各施設の情報交換も行い、活気あふれる研修会になりました。



令和6年度看護師職能Ⅰ（病院領域）研修報告

看護師職能Ⅰ委員長 岩崎 理佳

令和6年11月30日(土)、看護師職能Ⅰ（病院領域）の研修会を開催しました。

8月に日向灘での地震があり、南海トラフ地震のことも話題となっていたため、【災害対策】を大きなテーマとし、「災害サイクルに沿った看護管理」と題して、熊本地震で被災しながらも災害拠点病院として患者を受け入れた、済生会熊本病院看護部長 牛島久美子さん、被災病院から患者を受け入れた佐賀大学医学部附属病院 急性・重症患者看護専門看護師 今泉香織さん、佐賀県医療センター好生館 ICU副看護師長 古賀麻里子さんより実践報告をして頂きました。被災地の患者の様子や受入側の役割として一連の流れを知る機会となりました。災害時は、患者だけではなく家族支援や住居の手配等、通常の患者・家族支援だけではないと改めて知ることができました。南海トラフ地震の影響については、あくまで予測であり実際には予想外のこともあるかもしれませんが、佐賀県は被害が少ない県と言われています。そうすると当然受入側になると思います。今回の研修で学んだことを基に、それぞれの施設で被災県からの患者受け入れも想定した災害訓練に活かして頂きたいと思いました。また、講師の牛島看護部長さんより、搬送依頼したあとの患者さんのことを知る機会となり、改めて被災地の様子をお伝えできたことと佐賀で受け入れてくれたことに感謝していると話されていました。災害の規模によりますが、県内だけではなく県外を含めた医療連携の絆について改めて素晴らしいと感じた研修でした。



令和6年度 看護師職能Ⅱ （介護・福祉関係施設・在宅等領域）研修報告

看護師職能Ⅱ委員長 堀口 奈緒子

令和6年11月16日(土)佐賀県看護協会看護センターにて、「施設での看取り～施設看護師と訪問看護師の連携～」というテーマで研修会を開催し、29名の参加がありました。最初に、「施設看護師の立場から」ということで、NPO法人大空の会グループホームありがとー看護師 橋本聖子さんから、施設での看取りをすすめるにあたって、その経緯や課題、多職種連携の必要性、そしていつも大切にしていることについて話を頂きました。次に、医療法人ひらまつ病院訪問看護ステーション看護師 辻良子さんから訪問看護師の立場から、施設看取りを行う際に、訪問看護師に求められている役割や事例を通して感じた課題、連携して良かったと思える点、今後の施設看取りにあたって必要なことなどについて話を頂きました。利用者や家族の希望を尊重した施設看取りを行うためには、施設看護師と訪問看護師だけでなく、介護士との円滑な情報共有と役割分担を明確にすることが最も重要であると学びました。今回、参加者の5割が訪問看護師、3割が施設職員であり、意見交換が活発に行われ大変有意義であったと思います。今後も、職能Ⅱ領域で、関心の高い、役に立つテーマで、研修会を開催したいと考えています。



令和6年度 看護師職能Ⅰ(病院領域)・Ⅱ(介護・福祉関係施設・在宅等領域) 合同研修会報告

看護師職能Ⅰ委員長 岩崎 理佳
看護師職能Ⅱ委員長 堀口 奈緒子

令和7年2月1日(土)に「看護の力で地域をつなぐ看・看連携の輪」というテーマで研修会を開催し、56名の参加がありました。

講師は、社会医療法人祐愛会織田病院にご依頼し、病院側として連携センターの立場から副部長の重松かおりさん、在宅側として訪問看護ステーションゆうあい管理者の吉井朋代さんより、地域の特性や病院と訪問看護の連携とともに、訪問看護での眠りスキャンを活用した新しい取組等のお話をして頂きました。地域には訪問看護ステーションが5つあるそうですが、地域を支える病院と在宅部門として実践しておられる話を聞く良い機会となりました。地域の特殊性を踏まえた、自施設の役割について考えられており、参加者のアンケートからも良い意見が多くありました。病院から地域へと繋がっていくということを改めて知ることができ、大変有意義な研修となりました。今後も看護師職能にとって、有益で充実した研修会を企画していきたいと考えています。



「外来における在宅療養支援能力向上のための研修」を開催して

令和7年2月8日(土)に開催しました。

研修は病院の外来や診療所に勤務している看護職を対象に、eラーニングと集合演習で構成され、21施設から34名が受講しました。研修の目的は、「外来看護職が地域における自施設の外来が果たすべき役割に基づき、自らが外来で担うべき役割を認識するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得し実践することができる」としています。演習では先ず、佐賀県健康福祉部 医務課医療人材政策室 技術監 大久保京子氏より、「佐賀県における医療・看護を取り巻く状況について」をテーマに、佐賀県の保健医療提供体制の現状、看護職員の就業状況及び養成状況、看護関連施策等についてご講義いただきました。次に、2名の支援者にご協力いただき、事例をもとに必要な在宅療養支援や在宅療養支援強化のために外来看護職として取り組むこと、組織や地域と連携して取り組んでいくことについてグループディスカッションを行ないました。外来看護師として、多忙な外来業務の中にあっても、患者さんのいつもと違う状況に気づく力を養うことや他職種や他機関へ繋ぐことができるよう日頃から良い関係づくりが必要等多くの意見が聞かれました。

この研修が他施設との情報交換の場ともなり、他施設の状況や取組み等を共有することで自施設の課題への糸口に繋がるのではないかと思います。それぞれの施設に応じた在宅療養支援のあり方について考え、日々の業務の一助になることを期待しています。

文責 常務理事 前川 律子





特集 2024 年度新人インタビュー

- ① 看護師を目指したきっかけ
- ② 1年間働いてよかったこと
- ③ 4月から勤務している新人看護師に一言



- ① 小さい頃病院へ行くことが多くその時に看護師からの声かけですごく安心したことがきっかけで目指すようになった
- ② 初めは不安も大きかったけど少しずつ業務に慣れて先輩のお手伝いができるようになった時に「助かる」と言ってもらえて少しでも力になれることが嬉しかった。また、自分自身の成長も感じられてさらに嬉しかった
- ③ 不安なことや分からないことだらけで大変だと思うけれど先輩や周りへ相談してチャレンジしていき自信へ繋げてください



佐賀リハビリテーション病院

- ① 祖母が初めて入院した時担当して下さった看護師さんがきっかけです。初めての入院で祖母も不安なことが多くあった中親身になって祖母の話を聞いて下さった看護師さんをみて私も人の気持ちに寄り添うことのできる看護師になりたいと強く思いました
- ② 患者さんから名前を覚えて頂いたり、感謝の言葉をいただいた時は次も頑張ろうという気持ちになりました
- ③ 覚えることも大変だと思います。ですが、患者さんからの感謝の言葉を頂くなど嬉しい瞬間も沢山あります。自分になりたい看護師になれるように一緒に頑張っていきましょう



謙仁会 山元記念病院

- ① 実家の近くに病院があり、そこで働かれていた医療従事者の方々に憧れて
- ② ここでしか出会うことのできない環境やスタッフ、患者様と出会い沢山助けて頂いていること
- ③ 今は意味のないように思うことも必ず成長につながっていくと思うので一緒に頑張りましょう

- ① 手に職をつけたかったから
- ② 担当していた患者が元気に退院されているのを見てやりがいを感じる
- ③ 不安なことも多いと思いますがやりがいのある仕事なので頑張ってください。応援しています



祐愛会 織田病院

ナースセンターだより

《地域に必要な看護職確保事業》

令和6年度日本看護協会の委託事業として、伊万里地区を対象に次の看護職の確保対策に取り組みました。

1. 看護師の仕事をお探しの方を対象とした「就労支援セミナーin伊万里」

11月8日(金)にハローワーク伊万里を会場に、3名の参加がありました。現役の看護師から、採血・注射の説明を受け、モデルを使って実技体験をしました。

また、就職面接時の心構えや自己アピールの仕方など、看護職として就職する際のポイントを学びました。



2. 「看護師が働き続けられる組織づくり」をテーマとした「看護職研修会in伊万里」

12月14日(土)に、山元記念病院の会議室を会場に研修会を開催しましたが、伊万里地区を中心に44名の参加がありました。

講演は、行政、労働、医療機関の立場から

①佐賀県の看護職確保の取組

(佐賀県医務課 技術監 大久保京子氏)

②事故防止、人材確保につながる職場風土づくり

(みつだ健康・労務支援ラボ 所長 満田和弘氏)

③就業継続を目指した柔軟で多様な勤務形態への取り組み

(佐世保中央病院 看護部長 横山藤美氏)

の3本立てでお話をいただきました。

看護師確保の鍵は、人間関係の良い、柔軟で多様な勤務形態がある働きやすい職場であると学びました。



3. ハローワーク伊万里の看護職による出張相談を、月2回に増やしました。

《看護補助者の確保・定着推進事業》

医療機関内の業務のタスクシフトが進む中、看護職とチームで活動する看護補助者の確保に苦慮されている施設が増加しています。令和6年度の日本看護協会の委託事業として、次の事業に取り組みました。

1. 看護補助者のお仕事説明会「看護補助者として医療機関で働いてみませんか？」

ハローワークの協力を得て、ハローワーク佐賀で2回、ハローワーク鳥栖で1回、「お仕事説明会」を開催しました。看護補助者に興味を持つ計22名の参加があり、看護補助者として働くということをイメージしていただきました。



2. オンデマンド研修

看護補助者の業務や心得など90分のオンデマンド研修を無料で提供しました。7名の方が受講しました。

3. ハローワークでの出張相談に、「看護補助者」も対象としました。

4. 令和7年2月から、佐賀県ナースセンターが行う無料職業紹介事業に「看護補助者」も対象としました。今後、「看護補助者」の求人・求職の相談に応じますので、御紹介ください。



【令和6年度 看護職再就業支援研修会の実施結果です。】



令和6年度のポイント

看護職一般対象のスキルアップ研修会を唐津市と佐賀市で開催しました。
前年度に引き続き実習を選択できるようにしました。
託児施設に関しては、利用しやすさを考慮し研修会場近くに手配しました。



研修1. 看護職一般再就業支援研修会【講義と演習】

●研修1-1 看護職一般再就業スキルアップ研修

- 1)期 間：第1回:令和6年7月1日(月)～7月3日(水) 3日間 会場:唐津赤十字病院
第2回:令和6年10月22日(火)～10月25日(金) 4日間 会場:佐賀県看護協会看護センター
- 2)受講人数：第1回 4名…資格内訳:看護師3名、准看護師1名
第2回 9名…資格内訳:助産師・保健師1名、看護師7名、准看護師1名
- 3)託児利用 2名の児童が利用

①受講生の経験・離職期間

期 間	勤務年数(人)	離職年数(人)
就労経験なし		
1年未満		6
1年以上～5年未満		1
5年以上～10年未満	5	1
10年以上～15年未満	3	3
15年以上～20年未満		
20年以上	3	
その他(就労中)	2	2
計	13	13

②受講生の居住地 (人)

佐賀市	5
小城市	2
多久市	2
武雄市	1
嬉野市	1
鹿島市	1
神埼市	1
計	13

③受講生の年代 (人)

20代	0
30代	4
40代	5
50代	3
60代	1
計	13

●研修1-2 看護現場で再就業体験コース【実習】

- 1)期 間：令和6年10月29日(火)30日(水) 2日間
2)受講人数：1名 実習施設:サンテ溝上病院



《研修結果》

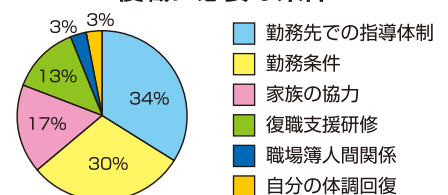
- 令和6年度は、受講生の利便性を考慮し、7月に唐津市、10月に佐賀市と地域での開催を初めて企画実施した。
- 研修1-1)唐津会場については、開催場所を唐津赤十字病院に依頼し、研修内容及び講師については、病院と協議し研修期間を3日間、講師は同院の認定看護師を中心に依頼した。受講生は4名であったが唐津市内からの申し込みはなかった。研修内容に関しては、受講生から病院で開催する利点を生かし実際の器材や設備を使った演習が充実していたという声が聞かれ満足度が高かった。
- 研修1-2)佐賀会場については、例年通り4日間の開催とした。講義内容に関しては、1「フィジカルアセスメント」2「採血・注射」3「感染予防対策」等、演習がある講義の評価が特に高かったが、他すべてのプログラムが高い評価であった。
- 受講生全体の2割弱が就業中(施設)であり、看護技術に対する不安を感じている。今年度は、求人側からも受講に関する相談があり、転職後間もない方が、自信をもって就業継続できるよう支援する為にも、再就業支援研修会を活用していく必要があると感じた。
- 今年度は、「採血・注射」を技術セミナーで受講しているため、スキルアップ4日間では参加をしない受講生がいたが、同じ研修時間の為終了扱いとした。
- 全員が「再就業を考えるきっかけになった」と答えており、研修目的は達成できたと考える。

研修2. 再就業支援技術セミナー「採血・注射」(半日)

開 催 日	研修受講修了者(延べ数)	研修後に復職(転職)した数
第1回 7月 5日	4	1
第2回 9月13日	6	2
第3回 11月 1日	4	1
第4回 12月 6日	3	2
計	17	6

(R7年3月31日現在)

復職に必要な条件



結 果:

- ・受講生はのべ17名、内 5名は就業中であり受講生の3割にあたる。
- ・受講生の年代は40代が多く、佐賀市内の受講生が多かった。
- ・研修の情報は、看護協会のHPで得る人が多かった。講義と演習という構成で分かり易いという意見で評価が高かった。
- ・研修後35%の受講生が、不安の軽減について「少し」と返答している。復職に必要な条件では、就業先での指導体制が34%と最も多く、次には勤務条件が多かった。



出席される方は、中途退席のないようお願いいたします。

令和7年度 佐賀県看護協会通常総会プログラム

期 日 令和7年6月21日(土)

場 所 佐賀市文化会館

時 間	内 容
9 : 30 9 : 55	開場 オリエンテーション
10 : 00	開会 物故会員への黙祷 会長挨拶 佐賀県看護協会会長表彰 日本看護協会会長表彰受賞者紹介 来賓祝辞 来賓紹介 祝電披露
10 : 30	議長団選出 議事録署名人決定 審議事項 第一号議案 定款及び定款細則の一部改正(案)について 第二号議案 令和6年度決算報告(案)について 第三号議案 令和8年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について 第四号議案 令和7年度改選役員及び推薦委員の選出について
10 : 50	選挙
11 : 05	報告事項 報告事項1 令和6年度事業報告 報告事項2 令和7年度事業計画 報告事項3 令和7年度収支予算
11 : 30	地区支部集会
12 : 00	選挙結果発表 退任役員への謝辞 退任役員代表挨拶 新役員紹介 新役員代表挨拶 会歌合唱
12 : 30	閉会

第一号議案

公益社団法人佐賀県看護協会定款及び定款細則の一部改正（案）

（提案説明）

「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の一部を改正する法律」が、令和7年4月1日施行されたことに伴い、外部役員（外部理事・外部監事）の設置及び役員の特別利害関係者の排除等を定める必要がある。

このため、公益社団法人佐賀県看護協会定款及び定款細則の一部を改正する必要がある。

1) 定款

現 行	改 正（案）
（役員の設置） 第18条 本会に次の役員を置く。 （1） 理事 12名以上15名以内 （2） 監事 2名以上3名以内 2 理事のうち、1名を会長、2名以内を副会長、2名以内を常務理事、4名以内を職能理事、5名を地区理事、1名を准看護師理事とする。 3 会長をもって法人法上の代表理事とし、代表理事以外の理事のうち、副会長及び常務理事を法人法第91条第1項第2号に規定する業務執行理事とする。	（役員の設置） 第18条 本会に次の役員を置く。 （1） 理事 12名以上15名以内 （2） 監事 2名以上3名以内 2 <u>役員の構成は次のとおりとする。</u> （1） <u>理事のうち、1名を会長、2名以内を副会長、2名以内を常務理事、4名以内を職能理事、5名を地区理事、1名を准看護師理事、1名以上を外部理事とする。</u> （2） <u>監事のうち1名以上を外部監事とする。</u> 3 <u>前項第1号の会長をもって法人法上の代表理事とし、代表理事以外の理事のうち、副会長、常務理事を法人法第91条第1項第2号に規定する業務執行理事（以下「業務執行理事」という。）とする。</u> 4 <u>各理事について、各監事と認定法第5条第12号に規定する特別利害関係を有しないものとする。</u> 5 <u>外部理事は次の全てを満たすものとする。</u> （1） <u>本会の業務執行理事又は使用人ではなく、かつ、その就任前10年間に本会の業務執行理事又は使用人であったことがない者</u> （2） <u>本会の正会員ではない者</u> 6 <u>外部監事は次の全てを満たすものとする。</u> （1） <u>本会の理事又は使用人ではなく、かつ、その就任前10年間に本会の理事又は使用人であったことがない者</u> （2） <u>本会の正会員ではない者</u> 附 則 1 この定款は、令和7年6月21日に改正（同日から施行）し、第18条については令和8年度改選役員の選出に係る事項についてから適用する。

2) 定款細則

現 行	改 正 (案)
(役員の選出) 第14条 役員（監事のうち1名を除く。）は、通常総会において、正会員の中から選出する。 2 会長、副会長1人、常務理事1人、保健師職能理事、看護師職能Ⅰ理事、地区理事3人、（東部、西部、南部地区支部）を奇数年次（西暦）に、副会長1人、常務理事1人、助産師職能理事、看護師職能Ⅱ理事、地区理事2人（中部、北部地区支部）、准看護師理事を偶数年次（西暦）に開催される通常総会において選出する。 3 監事のうち1名は奇数年次（西暦）に、他の1名は偶数年次（西暦）に開催される通常総会において選出する。	(役員の選出) 第14条 役員（<u>定款第18条に規定する外部理事及び外部監事を除く。</u>）は、通常総会において、正会員の中から選出する。 2 会長、副会長1人、常務理事1人、保健師職能理事、看護師職能Ⅰ理事、地区理事3人、（東部、西部、南部地区支部）を奇数年次（西暦）に、副会長1人、常務理事1人、助産師職能理事、看護師職能Ⅱ理事、地区理事2人（中部、北部地区支部）、准看護師理事を偶数年次（西暦）に開催される通常総会において選出する。 3 監事のうち1名は奇数年次（西暦）に、他の1名は偶数年次（西暦）に開催される通常総会において選出する。 附 則 1 この定款細則は、令和7年6月21日に改正（同日から施行）し、第14条については令和8年度改選役員の選出に係る事項についてから適用する。

第二号議案

令和6年度決算報告（案）

令和6年度決算の概要

本会の決算書は、20年会計基準に基づき大きく3つの会計区分となっている。すなわち、「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計」の3つである。

1 事業活動収入について

- (1) 入会金収入は7,800,000円、会費収入は42,200,000円であった。
- (2) 事業収入は185,130,389円、事業受託収入は33,790,881円、補助金等収入は9,693,218円であった。
- (3) 寄附金収入のうち、使途が指定されている532,000円は会員からの看護センター施設維持管理資金拠出金、1,400,000円は使途が指定されていない個人と法人からの寄附であった。
- (4) 雑収入は1,466,843円で、受取利息、実習生受入謝金の他、役職員旅費に対する日看協負担額の受け入れ等であった。

2 事業活動支出について

- (1) 公益目的事業会計の事業費支出の合計額は271,495,626円であった。
- (2) 公益目的事業会計のうち、全ての定款事業に共通で支出した事業費支出の合計は32,293,829円で、それ以外の定款事業ごとの内訳は次のとおりであった。
 - ① 教育等看護の質の向上に関する事業 29,340,757円
 - ② 看護学会の開催等学術研究の振興に関する事業 982,982円
 - ③ 看護業務、看護制度の改善に関する事業 1,098,755円
 - ④ 在宅ケアサービス等による県民の健康及び福祉の推進に関する事業 190,394,624円
 - ⑤ 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業 14,959,408円
 - ⑥ 災害による被災者の支援に関する事業 240,246円
 - ⑦ 保健・医療・福祉に関する知識の普及啓発に関する事業 533,830円
 - ⑧ 施設の貸与事業 0円
 - ⑨ その他本会の目的を達成するために必要な事業 1,651,195円
- (3) 収益事業等会計の事業費支出は1,240,157円で、主な事業は、施設の貸与事業、会員福利厚生事業等である。
- (4) 法人会計の管理費支出は25,605,626円であった。
- (5) 本会は、公益法人として、次の財務三基準を満たすことを求められている。
 - ① 収支相償、これは、公益目的事業に係る収入が費用をこえないこと。すなわち、事業実施に要する費用を上回る収入を上げてはいけない。

公益目的事業の経常収益260,398,007円が公益目的事業の経常費用271,495,626円を11,097,619円超えないため基準を満たしている。
 - ② 公益目的事業比率が、収益等事業と法人費用とを加えた事業費全体の50%以上であること。

全事業の経常費用298,341,409円に対する、公益目的事業の経常費用271,495,626円の比率が91.0%で、50%を超えるため基準を満たしている。
 - ③ 遊休財産額、すなわち、現在、今後とも、特に使用されていない財産の価格の合計額が、公益目的事業を1年間、実施するのに必要な額をこえないこと。

令和6年度末の遊休財産額209,724,620円で、公益目的事業の経常費用271,495,626円を超えないため基準を満たしている。

したがって、本会の令和6年度決算は、これら財務三基準をすべて満たしている。

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金	201,240,628	190,609,830	10,630,798
未 収 金	36,542,310	35,697,556	844,754
立 替 金	219,520	200	219,320
前 払 費 用	35,087	51,507	△ 16,420
未 収 消 費 税 等	0	6,392,000	△ 6,392,000
流 動 資 産 合 計	238,037,545	232,751,093	5,286,452
2. 固 定 資 産			
(2) 特 定 資 産			
施 設 整 備 積 立 金	0	44,759,000	△ 44,759,000
看 護 セ ン タ ー 準 備 積 立 金	118,813,828	119,593,996	△ 780,168
土 地	80,683,591	80,683,591	0
建 物 附 属 設 備	153,854,367	160,116,357	△ 6,261,990
建 物 附 属 設 備	41,660,954	11,216,017	30,444,937
構 築 物	2,248,912	2,740,532	△ 491,620
車 両 運 搬 具	11	11	0
什 器 備 品	8,668,377	10,593,809	△ 1,925,432
保 証 金	47,410	47,410	0
特 定 資 産 合 計	405,977,450	429,750,723	△ 23,773,273
(3) その他固定資産			
建 物 附 属 設 備	362,557	473,688	△ 111,131
構 築 物	340,562	418,352	△ 77,790
車 両 運 搬 具	726,446	1,560,520	△ 834,074
什 器 備 品	2,066,758	2,433,336	△ 366,578
土 地	80,359,585	80,359,585	0
リ ー ス 資 産	2,035,660	2,678,500	△ 642,840
保 証 金	139,550	139,550	0
そ の 他 固 定 資 産 合 計	86,031,118	88,063,531	△ 2,032,413
固 定 資 産 合 計	492,008,568	517,814,254	△ 25,805,686
資 産 合 計	730,046,113	750,565,347	△ 20,519,234
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	727,538	1,356,460	△ 628,922
前 受 金	34,552,000	35,144,000	△ 592,000
預 り 金	4,002,733	7,278,084	△ 3,275,351
仮 受 金	3,366	0	3,366
賞 与 引 当 金	7,233,934	6,977,829	256,105
未 払 消 費 税 等	1,337,300	0	1,337,300
流 動 負 債 合 計	47,856,871	50,756,373	△ 2,899,502
2. 固 定 負 債			
リ ー ス 債 務	2,089,230	2,732,070	△ 642,840
固 定 負 債 合 計	2,089,230	2,732,070	△ 642,840
負 債 合 計	49,946,101	53,488,443	△ 3,542,342
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国 庫 補 助 金	479,687	573,390	△ 93,703
地 方 公 共 団 体 補 助 金	8,545,019	9,550,194	△ 1,005,175
寄 付 金	249,848,288	257,001,050	△ 7,152,762
受 贈 車 両 運 搬 具	2	2	0
指 定 正 味 財 産 合 計	258,872,996	267,124,636	△ 8,251,640
(うち特定資産への充当額)	258,872,996	267,124,636	△ 8,251,640
2. 一般正味財産	421,227,016	429,952,268	△ 8,725,252
(うち特定資産への充当額)	147,104,454	162,626,087	△ 15,521,633
正 味 財 産 合 計	680,100,012	697,076,904	△ 16,976,892
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	730,046,113	750,565,347	△ 20,519,234

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

貸 借 対 照 表 科 目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	577,147
	普通預金	佐賀銀行 本店営業部	運転資金として	56,868,702
		佐賀銀行 本店営業部	同上	694,877
		佐賀銀行 本店営業部	同上	17,171,577
		佐賀銀行 本店営業部	同上	27,220,514
		佐賀銀行 本店営業部	同上	22,500,000
		佐賀銀行 本店営業部	同上	30,436,782
		佐賀銀行 本店営業部	同上	674,210
		佐賀銀行 本店営業部	同上	3,200,319
		佐賀銀行 本店営業部	同上	1,016,751
		佐賀共栄銀行 佐大通り支店	同上	879,749
	小計			160,663,481
	定期預金	佐賀東信用組合 県庁支店		20,000,000
		佐賀東信用組合 県庁支店		20,000,000
	小計			40,000,000
	現金預金 計			201,240,628
	未収金		介護報酬、診療報酬、委託事業他	36,542,310
	立替金		利用者駐車場立替	219,520
	前払費用		水路使用料	35,087
流動資産合計				238,037,545
(固定資産) 特定資産	看護センター準備積立金	佐賀東信用組合 県庁支店 他		118,813,828
	土地	久保田町大字徳万1997-1、1998-2 3616㎡	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。 収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。	59,302,440
				2,097,773
				19,283,378
	小計			80,683,591
	建物	久保田町大字徳万1997-1	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。 収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。	91,658,730
				3,169,222
				29,132,461
		佐賀市緑小路130-1	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。	29,893,954
	小計			153,854,367
	建物附属設備	佐賀県看護協会建物設備他	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。 収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。	32,115,571
				936,527
				8,608,856
	小計			41,660,954
	構築物	佐賀県看護協会外構工事他	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。 収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。	1,952,674
				29,066
				267,172
	小計			2,248,912
	車両運搬具	車両11台	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。	11
	什器備品	書架・ベッド他	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。 収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。	8,539,965
				12,599
				115,813
	小計			8,668,377
その他固定資産	保証金	リサイクル預託金	公益目的事業の用に供している。	47,410
	建物附属設備	複合型事業水道設備工事他	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。	362,557
	構築物	駐輪場屋根工事他	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。 収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。	307,318
				3,259
				29,985
	小計			340,562
	車両運搬具	車両13台	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。	726,446
	什器備品	パソコン他	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。 収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。	2,063,268
				62
				3,428
	小計			2,066,758
	土地	久保田町大字徳万1998-3 1639㎡ (駐車場)	公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。 公益目的保有財産であり、 公益目的事業の用に供している。	36,998,700
		佐賀市緑小路130-1 2010.8㎡		43,360,885
	小計			80,359,585
	リース資産	事務用印刷機	公益目的事業の用に供している。	2,035,660
	保証金	リサイクル預託金	公益目的事業の用に供している。	139,550
固定資産合計				492,008,568
資産合計				730,046,113
(流動負債)	未払金	佐賀年金事務所他	社会保険料他	727,538
	前受金		会員会費	34,552,000
	預り金	社会保険料預り金	社会保険料	3,247,856
		住民税預り金	住民税	378,400
		講師謝金等預り金	源泉所得税	90,113
		職員給与等預り金	源泉所得税	226,364
		一般的預り金	研修会費	60,000
	小計			4,002,733
	仮受金	利用者自己負担分		3,366
	賞与引当金			7,233,934
	未払消費税等			1,337,300
流動負債合計				47,856,871
(固定負債)	リース債務	シャープファイナンス	事務用印刷機リース	2,089,230
固定負債合計				2,089,230
負債合計				49,946,101
正味財産				680,100,012

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入金金	7,800,000	8,880,000	△ 1,080,000
受取入金金	7,800,000	8,880,000	△ 1,080,000
受取会費	42,200,000	43,704,000	△ 1,504,000
正会員受取会費	42,200,000	43,704,000	△ 1,504,000
事業収益	185,130,389	185,348,091	△ 217,702
研修会事業収益	15,868,300	11,019,800	4,848,500
介護保険収益	83,221,197	83,494,702	△ 273,505
療養費収益	69,874,205	73,833,028	△ 3,958,823
利用料収益	4,584,370	5,759,820	△ 1,175,450
居宅介護サービス計画費収益	10,517,390	10,274,800	242,590
施設使用料収益	1,008,500	940,600	67,900
販売手数料収益	56,427	25,341	31,086
事業受託収益	33,790,881	40,337,467	△ 6,546,586
佐賀県受託事業収益	31,048,000	37,940,404	△ 6,892,404
民間受託事業収益	2,742,881	2,397,063	345,818
受取補助金等	9,693,218	9,108,234	584,984
受取国庫補助金	429,000	0	429,000
受取地方公共団体補助金	183,000	0	183,000
受取日本看護協会助成金	7,982,340	7,991,860	△ 9,520
受取補助金等振替額	1,098,878	1,116,374	△ 17,496
受取寄付金	9,084,762	6,989,930	2,094,832
受取寄付金	1,400,000	400,000	1,000,000
受取寄付金振替額	7,684,762	6,589,930	1,094,832
雑収益	1,466,843	2,072,769	△ 605,926
受取利息	212,662	132,339	80,323
雑収益	1,254,181	1,940,430	△ 686,249
引当金戻入額	531,067	20,360	510,707
賞与引当金戻入	531,067	20,360	510,707
経常収益計	289,697,160	296,460,851	△ 6,763,691
(2) 経常費用			
事業費	272,735,783	269,942,992	2,792,791
役員報酬	2,207,250	2,043,750	163,500
給料員報酬	128,191,321	127,167,292	1,024,029
雇員報酬	28,227,350	23,936,168	4,291,182
講師報酬	10,676,795	9,114,400	1,562,395
臨時雇用賃金	5,186,289	5,000,228	186,061
退職給付費用	689,547	859,237	△ 169,690
中退金繰入額	3,251,520	3,779,560	△ 528,040
会員福利厚生費	638,373	774,843	△ 136,470
職員福利厚生費	27,034,642	27,940,247	△ 905,605
会議費	278,258	293,438	△ 15,180
旅費	3,110,637	2,823,915	286,722
通信費	5,056,272	4,335,663	720,609
車両償却費	2,050,677	2,070,985	△ 20,308
減価償却費	14,403,186	12,584,297	1,818,889
医療消耗器材費	535,030	366,119	168,911
衛生材料費	180,694	273,187	△ 92,493
消耗什器備品費	137,523	0	137,523
消耗品費	3,522,709	3,793,651	△ 270,942
修繕費	2,012,685	877,812	1,134,873
印刷製本費	2,734,308	3,218,897	△ 484,589
燃料費	1,732,590	1,788,357	△ 55,767
光熱水料費	4,613,582	4,314,250	299,332
賃借料費	2,474,329	2,770,438	△ 296,109
給食材料費	1,154,474	1,505,498	△ 351,024
保険料	1,864,017	1,888,237	△ 24,220
諸謝金	692,155	6,845,559	△ 6,153,404
租税公課	3,760,198	4,609,039	△ 848,841

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
支 払 負 担 金	483,102	399,858	83,244
支 払 寄 付 金	0	50,000	△ 50,000
委 託 手 数 費	7,738,622	7,617,845	120,777
支 払 手 数 料	504,024	465,983	38,041
雑 賞 与 引 当 金 繰 入 費	1,046,431	129,845	916,586
雑 賞 与 引 当 金 繰 入 失	6,547,193	6,303,894	243,299
管 理 費	0	500	△ 500
役 員 報 酬	25,605,626	23,922,835	1,682,791
給 料 手 報 酬	9,534,750	9,333,250	201,500
講 師 報 酬	5,386,812	5,320,316	66,496
中 退 金 繰 入 額	6,000	10,000	△ 4,000
職 員 福 利 厚 生 費	204,480	204,480	0
会 費	1,863,695	1,808,155	55,540
旅 費	36,587	45,741	△ 9,154
通 信 運 賃	1,717,303	1,627,852	89,451
減 価 償 却 費	243,788	176,741	67,047
消 耗 品 費	1,604,599	1,092,254	512,345
修 繕 費	202,140	148,313	53,827
印 刷 繕 製 本 費	87,235	9,464	77,771
燃 料 水 料 費	526,630	459,800	66,830
光 熱 水 料 費	3,082	2,972	110
賃 借 料	711,363	669,307	42,056
保 險 料	360,956	140,976	219,980
租 税 公 課	38,433	38,433	0
支 払 負 担 金 費	99,502	90,397	9,105
委 託 手 数 料	510,692	514,528	△ 3,836
支 払 手 数 料	1,560,722	1,427,513	133,209
雑 賞 与 引 当 金 繰 入	15,394	14,605	789
雑 賞 与 引 当 金 繰 入	204,722	113,803	90,919
雑 賞 与 引 当 金 繰 入	686,741	673,935	12,806
経 常 費 用 計	298,341,409	293,865,827	4,475,582
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,644,249	2,595,024	△ 11,239,273
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△ 8,644,249	2,595,024	△ 11,239,273
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固 定 資 産 受 贈 益	0	1,239,857	△ 1,239,857
什 器 備 品 受 贈 益	0	465,437	△ 465,437
車 両 運 搬 具 受 贈 益	0	757,000	△ 757,000
保 証 金 受 贈 益	0	17,420	△ 17,420
経 常 外 収 益 計	0	1,239,857	△ 1,239,857
(2) 経常外費用			
固 定 資 産 除 却 損	3	6	△ 3
車 両 運 搬 具 除 却 損	0	1	△ 1
什 器 備 品 除 却 損	3	5	△ 2
経 常 外 費 用 計	3	6	△ 3
当 期 経 常 外 増 減 額	△ 3	1,239,851	△ 1,239,854
税引前当期一般正味財産増減額	△ 8,644,252	3,834,875	△ 12,479,127
法 人 税 等	81,000	0	81,000
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 8,725,252	3,834,875	△ 12,560,127
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	429,952,268	426,117,393	3,834,875
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	421,227,016	429,952,268	△ 8,725,252
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 付 金	532,000	813,000	△ 281,000
募 金 収 入 益	532,000	813,000	△ 281,000
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 8,783,640	△ 7,706,304	△ 1,077,336
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 8,783,640	△ 7,706,304	△ 1,077,336
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△ 8,251,640	△ 6,893,304	△ 1,358,336
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	267,124,636	274,017,940	△ 6,893,304
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	258,872,996	267,124,636	△ 8,251,640
III 正味財産期末残高	680,100,012	697,076,904	△ 16,976,892

正味財産増減

令和6年4月1日から

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				
	看護センター各種事業	訪問看護Ⅰ事業	介護支援Ⅰ事業	療養通所Ⅰ事業	複合型事業
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受 取 入 会 金	3,900,000	0	0	0	0
受 取 入 会 金	3,900,000	0	0	0	0
受 取 会 費	21,100,000	0	0	0	0
正 会 員 受 取 会 費	21,100,000	0	0	0	0
事 業 収 益	15,868,300	100,309,762	10,517,390	0	57,370,010
研 修 会 事 業 収 益	15,868,300	0	0	0	0
介 護 保 険 収 益	0	28,268,207	0	0	54,952,990
療 養 費 収 益	0	69,874,205	0	0	0
利 用 料 収 益	0	2,167,350	0	0	2,417,020
居宅介護サービス計画費収益	0	0	10,517,390	0	0
施 設 使 用 料 収 益	0	0	0	0	0
販 売 手 数 料 収 益	0	0	0	0	0
事 業 受 託 収 益	24,384,851	8,601,000	0	0	0
佐 賀 県 受 託 事 業 収 益	22,447,000	8,601,000	0	0	0
民 間 受 託 事 業 収 益	1,937,851	0	0	0	0
受 取 補 助 金 等	7,982,340	1,675,078	0	0	35,800
受 取 国 庫 補 助 金	0	429,000	0	0	0
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	0	183,000	0	0	0
受 取 日 本 看 護 協 会 助 成 金	7,982,340	0	0	0	0
受 取 補 助 金 等 振 替 額	0	1,063,078	0	0	35,800
受 取 寄 付 金	7,202,637	0	0	0	0
受 取 寄 付 金	700,000	0	0	0	0
受 取 寄 付 金 振 替 額	6,502,637	0	0	0	0
雑 収 益	189,784	715,934	10,744	1,448	1,862
受 取 利 息	157,284	14,708	744	1,448	1,862
雑 収 益	32,500	701,226	10,000	0	0
引 当 金 戻 入 額	134,267	396,800	0	0	0
賞 与 引 当 金 戻 入	134,267	396,800	0	0	0
経 常 収 益 計	80,762,179	111,698,574	10,528,134	1,448	57,407,672
(2) 経常費用					
事 業 費	81,101,002	111,291,888	11,655,983	0	67,446,753
役 員 報 酬	2,207,250	0	0	0	0
給 料 手 当	22,148,672	58,270,846	8,715,611	0	38,935,846
雇 員 報 酬	3,194,012	14,772,521	0	0	10,260,817
講 師 報 酬	10,360,795	311,000	0	0	5,000
臨 時 雇 用 賃 金	5,186,289	0	0	0	0
退 職 給 付 費 用	16,600	589,607	0	0	83,340
中 退 金 繰 入 額	342,912	1,650,000	360,000	0	894,000
会 員 福 利 厚 生 費	0	0	0	0	0
職 員 福 利 厚 生 費	4,731,608	12,141,892	1,585,581	0	8,555,118
会 費 議 費	233,474	23,686	0	0	21,098
旅 費 交 通 費	2,977,640	132,897	0	0	100
通 信 運 搬 費	2,427,014	2,474,032	87,070	0	56,708
車 両 賃 借 費	112,740	1,590,834	0	0	347,103
減 価 償 却 費	7,774,913	5,712,554	0	0	741,900
医 療 消 耗 器 材 費	0	334,447	0	0	200,583
衛 生 材 料 費	0	180,694	0	0	0
消 耗 什 器 備 品 費	0	59,623	0	0	77,900
消 耗 品 費	1,733,014	1,305,590	27,364	0	455,771
修 繕 費	1,794,754	0	0	0	208,440
印 刷 製 本 費	2,662,368	71,940	0	0	0
燃 料 費	11,276	1,246,438	12,852	0	461,970
光 熱 水 料 費	2,187,729	996,664	42,000	0	1,309,814
賃 借 料 費	1,268,972	811,965	115,940	0	277,068
給 食 材 料 費	0	0	0	0	1,154,474
保 険 料	173,296	1,379,282	18,300	0	288,958
諸 謝 金	484,000	208,155	0	0	0

計算書内訳表

令和7年3月31日まで

(単位：円)

小計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	収 入	他 入	小計			
3,900,000	0	0	0	3,900,000	0	7,800,000
3,900,000	0	0	0	3,900,000	0	7,800,000
21,100,000	0	1,000,000	1,000,000	20,100,000	0	42,200,000
21,100,000	0	1,000,000	1,000,000	20,100,000	0	42,200,000
184,065,462	1,064,927	0	1,064,927	0	0	185,130,389
15,868,300	0	0	0	0	0	15,868,300
83,221,197	0	0	0	0	0	83,221,197
69,874,205	0	0	0	0	0	69,874,205
4,584,370	0	0	0	0	0	4,584,370
10,517,390	0	0	0	0	0	10,517,390
0	1,008,500	0	1,008,500	0	0	1,008,500
0	56,427	0	56,427	0	0	56,427
32,985,851	0	0	0	805,030	0	33,790,881
31,048,000	0	0	0	0	0	31,048,000
1,937,851	0	0	0	805,030	0	2,742,881
9,693,218	0	0	0	0	0	9,693,218
429,000	0	0	0	0	0	429,000
183,000	0	0	0	0	0	183,000
7,982,340	0	0	0	0	0	7,982,340
1,098,878	0	0	0	0	0	1,098,878
7,202,637	115,982	0	115,982	1,766,143	0	9,084,762
700,000	0	0	0	700,000	0	1,400,000
6,502,637	115,982	0	115,982	1,066,143	0	7,684,762
919,772	27,342	1,446	28,788	518,283	0	1,466,843
176,046	6,282	1,446	7,728	28,888	0	212,662
743,726	21,060	0	21,060	489,395	0	1,254,181
531,067	0	0	0	0	0	531,067
531,067	0	0	0	0	0	531,067
260,398,007	1,208,251	1,001,446	2,209,697	27,089,456	0	289,697,160
271,495,626	513,475	726,682	1,240,157	0	0	272,735,783
2,207,250	0	0	0	0	0	2,207,250
128,070,975	64,235	56,111	120,346	0	0	128,191,321
28,227,350	0	0	0	0	0	28,227,350
10,676,795	0	0	0	0	0	10,676,795
5,186,289	0	0	0	0	0	5,186,289
689,547	0	0	0	0	0	689,547
3,246,912	2,496	2,112	4,608	0	0	3,251,520
0	0	638,373	638,373	0	0	638,373
27,014,199	10,868	9,575	20,443	0	0	27,034,642
278,258	0	0	0	0	0	278,258
3,110,637	0	0	0	0	0	3,110,637
5,044,824	726	10,722	11,448	0	0	5,056,272
2,050,677	0	0	0	0	0	2,050,677
14,229,367	173,742	77	173,819	0	0	14,403,186
535,030	0	0	0	0	0	535,030
180,694	0	0	0	0	0	180,694
137,523	0	0	0	0	0	137,523
3,521,739	485	485	970	0	0	3,522,709
2,003,194	9,491	0	9,491	0	0	2,012,685
2,734,308	0	0	0	0	0	2,734,308
1,732,536	27	27	54	0	0	1,732,590
4,536,207	77,375	0	77,375	0	0	4,613,582
2,473,945	192	192	384	0	0	2,474,329
1,154,474	0	0	0	0	0	1,154,474
1,859,836	4,181	0	4,181	0	0	1,864,017
692,155	0	0	0	0	0	692,155

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				
	看護センター各種事業	訪問看護Ⅰ事業	介護支援Ⅰ事業	療養通所Ⅰ事業	複合型事業
租 税 公 課	2,594,383	955,251	17,358	0	123,329
支 払 負 担 金	189,702	159,900	74,000	0	59,500
委 託 費	4,953,305	2,162,530	66,000	0	458,250
支 払 手 数 料	292,640	176,146	1,847	0	31,203
雑 費	158,852	615,960	2,260	0	268,930
賞 与 引 当 金 繰 入	882,792	2,957,434	529,800	0	2,169,533
管 理 費	0	0	0	0	0
役 員 報 酬	0	0	0	0	0
給 料 手 当	0	0	0	0	0
講 師 報 酬	0	0	0	0	0
中 退 金 繰 入 額	0	0	0	0	0
職 員 福 利 厚 生 費	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0
旅 費 交 通 費	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	0	0	0	0	0
減 価 償 却 費	0	0	0	0	0
消 耗 品 費	0	0	0	0	0
修 繕 費	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0
燃 料 費	0	0	0	0	0
光 熱 水 料 費	0	0	0	0	0
賃 借 料 費	0	0	0	0	0
保 険 料	0	0	0	0	0
租 税 公 課	0	0	0	0	0
支 払 負 担 金	0	0	0	0	0
委 託 費	0	0	0	0	0
支 払 手 数 料	0	0	0	0	0
雑 費	0	0	0	0	0
賞 与 引 当 金 繰 入	0	0	0	0	0
経 常 費 用 計	81,101,002	111,291,888	11,655,983	0	67,446,753
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 338,823	406,686	△ 1,127,849	1,448	△ 10,039,081
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 338,823	406,686	△ 1,127,849	1,448	△ 10,039,081
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経 常 外 収 益 計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
固 定 資 産 除 却 損	0	3	0	0	0
什 器 備 品 除 却 損	0	3	0	0	0
経 常 外 費 用 計	0	3	0	0	0
当期経常外増減額	0	△ 3	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 338,823	406,683	△ 1,127,849	1,448	△ 10,039,081
他 会 計 振 替 額	6,037,721	4,610,196	18,313	△ 4,445,259	115,884
税引前当期一般正味財産増減額	5,698,898	5,016,879	△ 1,109,536	△ 4,443,811	△ 9,923,197
法 人 税 等	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	5,698,898	5,016,879	△ 1,109,536	△ 4,443,811	△ 9,923,197
一般正味財産期首残高	176,087,088	132,552,720	△ 10,178,098	4,433,899	15,322,044
一般正味財産期末残高	181,785,986	137,569,599	△ 11,287,634	△ 9,912	5,398,847
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
受 取 寄 付 金	532,000	0	0	0	0
募 金 収 益	532,000	0	0	0	0
施設維持管理資金拠出金	532,000	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 6,502,637	△ 1,063,078	0	0	△ 35,800
一般正味財産への振替額	△ 6,502,637	△ 1,063,078	0	0	△ 35,800
国 庫 補 助 金	0	△ 57,903	0	0	△ 35,800
地 方 公 共 団 体 補 助 金	0	△ 1,005,175	0	0	0
寄 付 金	△ 6,502,637	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	△ 5,970,637	△ 1,063,078	0	0	△ 35,800
指定正味財産期首残高	223,810,084	9,947,253	0	9,912	56,057
指定正味財産期末残高	217,839,447	8,884,175	0	9,912	20,257
Ⅲ 正味財産期末残高	399,625,433	146,453,774	△ 11,287,634	0	5,419,104

(単位：円)

小 計	収 益 事 業 等 会 計			法 人 会 計	内部取引消去	合 計
	収 1	他 1	小 計			
3,690,321	69,877	0	69,877	0	0	3,760,198
483,102	0	0	0	0	0	483,102
7,640,085	95,244	3,293	98,537	0	0	7,738,622
501,836	172	2,016	2,188	0	0	504,024
1,046,002	429	0	429	0	0	1,046,431
6,539,559	3,935	3,699	7,634	0	0	6,547,193
0	0	0	0	25,605,626	0	25,605,626
0	0	0	0	9,534,750	0	9,534,750
0	0	0	0	5,386,812	0	5,386,812
0	0	0	0	6,000	0	6,000
0	0	0	0	204,480	0	204,480
0	0	0	0	1,863,695	0	1,863,695
0	0	0	0	36,587	0	36,587
0	0	0	0	1,717,303	0	1,717,303
0	0	0	0	243,788	0	243,788
0	0	0	0	1,604,599	0	1,604,599
0	0	0	0	202,140	0	202,140
0	0	0	0	87,235	0	87,235
0	0	0	0	526,630	0	526,630
0	0	0	0	3,082	0	3,082
0	0	0	0	711,363	0	711,363
0	0	0	0	360,956	0	360,956
0	0	0	0	38,433	0	38,433
0	0	0	0	99,502	0	99,502
0	0	0	0	510,692	0	510,692
0	0	0	0	1,560,722	0	1,560,722
0	0	0	0	15,394	0	15,394
0	0	0	0	204,722	0	204,722
0	0	0	0	686,741	0	686,741
271,495,626	513,475	726,682	1,240,157	25,605,626	0	298,341,409
△ 11,097,619	694,776	274,764	969,540	1,483,830	0	△ 8,644,249
0	0	0	0	0	0	0
△ 11,097,619	694,776	274,764	969,540	1,483,830	0	△ 8,644,249
0			0			0
0			0			0
0	0	0	0	0	0	0
0			0			0
3	0	0	0	0	0	3
3	0	0	0	0	0	3
3	0	0	0	0	0	3
△ 3	0	0	0	0	0	△ 3
△ 11,097,622	694,776	274,764	969,540	1,483,830	0	△ 8,644,252
6,336,855	602,158	△ 103,270	498,888	△ 6,835,743	0	0
△ 4,760,767	1,296,934	171,494	1,468,428	△ 5,351,913	0	△ 8,644,252
0	81,000	0	81,000	0	0	81,000
△ 4,760,767	1,215,934	171,494	1,387,428	△ 5,351,913	0	△ 8,725,252
318,217,653	9,239,400	1,346,113	10,585,513	101,149,102	0	429,952,268
313,456,886	10,455,334	1,517,607	11,972,941	95,797,189	0	421,227,016
0			0			0
532,000	0	0	0	0	0	532,000
532,000	0	0	0	0	0	532,000
532,000	0	0	0	0	0	532,000
△ 7,601,515	△ 115,982	0	△ 115,982	△ 1,066,143	0	△ 8,783,640
△ 7,601,515	△ 115,982	0	△ 115,982	△ 1,066,143	0	△ 8,783,640
△ 93,703	0	0	0	0	0	△ 93,703
△ 1,005,175	0	0	0	0	0	△ 1,005,175
△ 6,502,637	△ 115,982	0	△ 115,982	△ 1,066,143	0	△ 7,684,762
△ 7,069,515	△ 115,982	0	△ 115,982	△ 1,066,143	0	△ 8,251,640
233,823,306	3,267,301	0	3,267,301	30,034,029	0	267,124,636
226,753,791	3,151,319	0	3,151,319	28,967,886	0	258,872,996
540,210,677	13,606,653	1,517,607	15,124,260	124,765,075	0	680,100,012

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券及び投資有価証券・・・・・・移動平均法による原価基準によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

リース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のものは、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理をしている。

リース契約1件あたりのリース料総額が300万円を超えるものは、通常の売買取引に係る方法に準じて会計処理をしている。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込処理によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
施 設 整 備 積 立 金	44,759,000	0	44,759,000	0
看護センター準備積立金	119,593,996	649,832	1,430,000	118,813,828
土 地	80,683,591	0	0	80,683,591
建 物	160,116,357	0	6,261,990	153,854,367
建 物 附 属 設 備	11,216,017	34,980,000	4,535,063	41,660,954
構 築 物	2,740,532	0	491,620	2,248,912
車 両 運 搬 具	11	0	0	11
什 器 備 品	10,593,809	344,670	2,270,102	8,668,377
保 証 金	47,410			47,410
合 計	429,750,723	35,974,502	59,747,875	405,977,350

5. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
施 設 整 備 積 立 金	0	0	0	0
看護センター準備積立金	118,813,828	117,691,111	1,122,717	0
土 地	80,683,591	0	80,683,591	0
建 物	153,854,367	129,669,855	24,184,512	0
建 物 附 属 設 備	41,660,954	4,707,418	36,953,536	0
構 築 物	2,248,912	1,393,088	855,824	0
車 両 運 搬 具	11	7	4	0
什 器 備 品	8,668,377	5,401,607	3,266,770	0
保 証 金	47,410	9,910	37,500	0
合 計	405,977,450	258,872,996	147,104,454	0

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	245,007,440	91,153,073	153,854,367
建 物 附 属 設 備	166,914,874	124,891,363	42,023,511
構 築 物	24,421,414	21,831,940	2,589,474
車 両 運 搬 具	22,327,923	21,601,466	726,457
什 器 備 品	73,453,543	62,718,408	10,735,135
リ ー ス 資 産	4,499,880	2,464,220	2,035,660
合 計	536,625,074	324,660,470	211,964,604

8. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当なし。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

該当なし。

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交 付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
オンライン資格認定 導入補助金	社会保険診療報酬 支払基金	0	429,000	429,000	0	—
R6年度佐賀県医療的ケア 児等在宅生活支援事業補助金	佐 賀 県	0	183,000	183,000	0	—
R6年度看護の普及 啓発事業補助金	日 本 看 護 協 会	0	100,000	100,000	0	—
R6年度教育事業 (研修)助成金	日 本 看 護 協 会	0	7,882,340	7,882,340	0	—
H27年度佐賀県訪問 看護ステーション規模 拡大支援事業補助金	佐 賀 県	5	0	0	5	指定正味財産
H27年度サポート センター事業補助金	佐 賀 県	13,230	0	7,560	5,670	指定正味財産
H26年度中小企業労働 環境向上助成金	佐 賀 労 働 局	1	0	0	1	指定正味財産
H26年度中小企業労働 環境向上助成金	佐 賀 労 働 局	176,330	0	35,800	140,530	指定正味財産
H25年度介護福祉 機器等助成金	佐 賀 労 働 局	397,059	0	57,903	339,156	指定正味財産
H24年度介護基盤緊急 特別対策事業補助金	佐賀県中部広域連合	9,536,959	0	997,615	8,539,344	指定正味財産
合 計		10,123,584	8,594,340	9,693,218	9,024,706	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	7,353,640
事業費計上による振替額	1,430,000
合 計	8,783,640

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

13. 重要な後発事象

該当なし。

附 属 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産…なし

特定財産…財務諸表注記 4. 特定資産の増減及びその残高 に記載しているので省略している。

2 引当金の明細

科 目	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目 的 使 用	そ の 他	
賞 与 引 当 金	6,977,829	7,233,934	6,446,762	531,067	7,233,934

資金調達及び設備投資の実績を記載した書類

令和7年3月31日現在

1 資金調達の実績について

該当なし。

2 設備投資の実績について

(単位：円)

設備投資の実績			
事 業	設備投資の内容	金 額	資金調達方法または取得資金の使途
公 1	空調機器更新	34,980,000	自己資金
〃	温水器	172,335	自己資金
〃	温水器	172,335	自己資金
〃	ノートパソコン	184,800	自己資金
〃	ルーター	110,000	自己資金
〃	全自動洗濯機	121,800	自己資金

監 査 報 告 書

令和 7 年 5 月 13 日

公益社団法人 佐賀県看護協会

会 長 南 里 玲 子 様

公益社団法人 佐賀県看護協会

監事

松岡 周子



公益社団法人 佐賀県看護協会

監事

大坪 玲子



公益社団法人 佐賀県看護協会

監事

田村 浩司



私たち監事は、公益社団法人佐賀県看護協会の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告について監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

ア 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

イ 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実
は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

第三号議案

令和8年度 日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補者（案）

令和7年度通常総会後 令和8年度通常総会まで

代 議 員 5 名

職 能	氏 名	勤 務 先	備 考
保 健 師	高 田 はるみ	杵藤保健福祉事務所	
助 産 師	東 嶋 加奈子	NHO嬉野医療センター	職 能 理 事
看 護 師	宮之下 さとみ	佐賀大学医学部附属病院	
看 護 師	堀 口 奈緒子	ひらまつ病院訪問看護ステーション	職 能 理 事
准看護師	北 島 由 美	うえむら病院	准看護師理事

予備代議員 5 名

職 能	氏 名	勤 務 先	備 考
保 健 師	永 尾 一 恵	佐賀県看護協会	
助 産 師	坂 本 美奈子	佐賀県看護協会	（副 会 長）
看 護 師	前 川 律 子	佐賀県看護協会	常 務 理 事
看 護 師	楮 山 久美子	河畔病院	地 区 理 事
准看護師	金 子 由 佳	横須賀病院	

第四号議案

令和7年度 改選役員及び推薦委員等の選出について

令和7年度 役員等改選候補者一覧

会長候補

藤満 幸子

学校法人旭学園 佐賀短期大学付属佐賀女子高等学校



佐賀大学医学部附属病院で看護師・助産師・看護管理者として39年間勤務し、今年の4月から基礎教育の場で副校長として勤務しています。今までの経験知とネットワークを活かして看護職の働く環境の支援のために尽力いたします。

職能理事候補

高田はるみ

杵藤保健福祉事務所



健康推進課の課長も兼務しています。感染症、精神保健、難病、健康づくり、肝炎対策、歯科保健等と業務は多岐にわたります。

報告や相談、打合せと毎日、声がかかります。できるだけ、笑顔を忘れないように努めています。

副会長候補

山本 洋子

個人



現在個人会員ですが、看護職として約40年間臨床の現場や教育・管理などを経験いたしました。その経験を活かし、微力ながら佐賀県看護協会の発展に尽力したいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

宮之下さとみ

佐賀大学医学部附属病院



『かさねて紡ぐ、看護の品格』をモットーに、患者さんご家族へ、安心・安全で最善の看護を提供できるよう、教育、看護の質の向上、地域との連携強化などにおける「しくみづくり」が看護部長としての主な仕事です。

坂本美奈子

個人



副会長を1期させていただきました。看護職を取り巻く環境はますます厳しいものになりつつあります。社会の期待に応えられる看護のあり方を、皆様と共に考えていきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願い致します。

地区理事候補

松永 薫

独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター



看護師長（地域医療連携係長）として、在宅支援部門看護師12名、入退院支援専従看護師4名、PSW12名とともに入院時から地域生活を支える訪問看護まで、切れ目のない看護の提供を目指し、日々奮闘しています。

常務理事候補

永尾 一恵

個人



保健師として38年間勤めた県庁を令和5年3月末に退職後、看護協会ナースセンターに勤務し、看護現場や人材確保の厳しさを痛感いたしました。皆様の力になれるよう尽力いたしますのでよろしくお願い致します。

本山 皇一

特定医療法人静便堂 白石共立病院



手術室兼中央材料室で師長として勤務しております。安心・安全な医療を提供できるように日々邁進しております。看護協会の役員は初めてですが、皆様と協力して協会の活動に取り組んでいきたいと思ひます。

池田 啓之

独立行政法人国立病院機構 佐賀病院



国立病院機構佐賀病院で外来看護師長として勤務しています。微力ながら佐賀県看護協会のお役に立てればと思ひます。

地区理事候補

山田 敦規

医療法人公和会 横須賀病院



看護部長として勤務しております。
小野病院より横須賀病院となって2年が経ちました。患者様が安心して入院生活を送れるよう、またそれを支えるスタッフが患者様に寄り添える環境づくりに取り組んでおります。

推薦委員候補

荒木 真理

医療法人幸善会 前田病院



看護部長として勤務しています。
心・信・真 ～安心と信頼の医療を真心こめて～ を病院理念に掲げ、患者様に寄り添う看護を目指し、スタッフと共に日々努力しております。よろしくお願いします。

監事候補

大久保京子

佐賀県健康福祉部国民健康保険課



今年3月まで県医務課の技術監として、看護協会や医療機関、教育機関の皆様には大変お世話になりました。定年延長により4月から国民健康保険課で、国保の医療費適正化関係業務を担当しています。どうぞよろしくお願いします。

手嶋 優子

医療法人啓心会 啓心会病院



鳥栖市医療法人啓心会啓心会病院の回復期リハビリ病棟で勤務しております。
日々、患者様の看護ケアや日常生活の援助を行いながら、教育委員として活動しています。今回、推薦委員として、皆様のお役に立てればと思っております。よろしくお願い致します。

松岡 周子

個人



個人会員となり、2年間監事として看護協会活動に関わらせて頂きました。看護職の人材確保、会員減少など深刻な課題が山積していますが、微力ながら尽力致します。どうぞよろしくお願い致します。

藤岡多恵子

医療法人 諸隈病院



地域包括ケア病棟で看護師をしています。
患者様が元気に在宅復帰ができるよう日々支援しています。今回、初めて看護協会委員に携わります。不慣れな所が多くありますが、よろしくお願いします。

田村 浩司

田村公認会計事務所

(会員外)

飯田 晃之

特定医療法人樟風会 早津江病院



私は早津江病院の外来で看護師長を務めております。私達は精神に不安を抱えた患者が安心して受診や入院ができるよう日々看護に取り組んでいます。どうぞよろしくお願い致します。

推薦委員候補

川谷 仁恵

医療法人健心会 訪問看護ステーションふじの風



今年度より訪問看護ステーションふじの風で管理者として勤務しています。これまでの病棟経験を活かし、在宅で生活している利用者様へ安全で安心できる環境を提供できるように努めます。どうぞよろしくお願いします。

中島まり子

鳥栖保健福祉事務所



2年前に鳥栖に赴任し、結核や性感染症を中心に感染症全般、糖尿病、肝疾患、歯科保健、受動喫煙対策など多様な業務を担当しています。皆さまに御指導いただきながら前向きに活動したいと思います。

石橋あゆみ

嬉野温泉病院



外来師長として業務に携わり、外来勤務も4年を迎えました。「患者さんのために」の病院理念のもと、地域で生活される患者さんが安心して治療を継続できる環境づくりと人材育成に日々奮闘しております。よろしくお願いします。

報告事項 1

令和6年度 事業 報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

当会は、公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業並びに、その公益目的事業の推進に資するための収益事業等を公益社団法人日本看護協会と連携し、以下のとおり行う。

- 事業計画は、定款第4条の9つの事業に沿って掲載
1. 教育等看護の質の向上に関する事業
 2. 看護学会の開催等学術研究の振興に関する事業
 3. 看護業務、看護制度の改善に関する事業
 4. 在宅ケアサービス等による県民の健康及び福祉の推進に関する事業
 5. 看護職の労働環境等の改善促進に関する事業
 6. 災害による被災者の支援に関する事業
 7. 保健・医療・福祉に関する知識の普及に関する事業
 8. 施設の貸与事業
 9. その他本会の目的を達成するために必要な事業

【重点事業】

1. 地域包括ケアシステム推進のための看護機能の強化
 2. 働き続けられる職場環境づくりと人材確保・定着の推進
 3. 質の高い看護実践を支える生涯学習の推進
 4. 会員拡大による組織強化
 5. 地域の健康危機管理体制の構築

1. 教育等看護の質の向上に関する事業（公益目的事業）

看護職に対する看護教育を実施・充実することを通して、看護職の専門職としての能力の維持・向上及び人間性のある看護職の育成を図る。

事業項目	内 容
(1) 看護教育及び看護の質の向上に関する事業	ア 継続教育の企画、実施 ・一般研修 35コース 1,293名（含非会員180名） ・2025年度 研修計画の企画・研修計画冊子の作成・広報 イ 認定看護管理者研修 ・認定看護管理者教育課程ファーストレベル 114時間（5/17～12/6）：54名修了 ・認定看護管理者教育課程セカンドレベル 183時間（7/12～2/22）：13名修了 ウ 佐賀県委託研修 ① 新人看護職員等研修会 ・新人看護職員多施設合同研修 5/14：62名、5/15：55名、5/23：56名、5/28：57名、6/5：52名、6/12：62名、6/13：63名、10/9：57名、3/3：53名 ・新人看護職員教育担当者研修会（11/12、14、19、25、26）26名受講 ・新人看護職員実地指導者研修会（11/12、14、19、12/3）18名受講 ② 保健師助産師看護師実習指導者講習会（7/10～11/8）29名受講 ③ 保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野）6/7～6/20（7日間）16名受講 ④ がん看護研修会 ・基礎編研修5日間コース（9/18～11/28）29名受講 ・ELNEC-J研修2日間コース（1/25～26）18名受講 ⑤ 訪問看護師養成講習会（5/22～11/27）19名受講 ⑥ 看護職再就業支援研修会 ・スキルアップ3日間コース（唐津赤十字病院）7/1～7/3：4名

事業項目	内 容
	・スキルアップ4日間コース（看護センター）10/22～10/25：9名 ・体験コース2日間コース 10/29～10/30：1名 ・技術セミナー 4回/年 7/5：4名、9/13：6名、11/1：4名、12/6：3名 ⑦ 看護職員認知症対応力向上研修 10/5、16、30：48名 ⑧ 病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修 12/7：16名 エ JNA収録DVD研修 ① 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 6/26～27：66名 ② 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 9/6：56名 オ その他の研修（支部における研修を含む） ① 医療安全管理者養成研修（日本看護協会との連携研修）11/29：30名 ② 外来における在宅療養支援能力向上のための研修 2/8：34名 ③ 地区支部における研修会 西部地区：「認知症初期集中支援チームの活動をご存じですか？～チーム活動の実際～」 11/1：79名 北部地区：「緩和ケア病棟での看取りとエンゼルケア」 12/21：86名 中部・南部地区：「職場で支えるメンタルヘルス」 1/18：47名 東部地区：「利用者が住み慣れた地域、自宅で生活することを支援するために」～それぞれの立場や役割からより良い在宅支援を考える～ 1/18：36名 カ 委員会 ① 教育委員会 5/21、7/3、9/26、10/22、11/16、12/25、1/23、2/27 ② 認定看護管理者教育運営委員会 6回/年 5/29、9/25、11/20、1/15、2/22、3/26 キ 日本看護協会との連携 ・認定看護管理者教育機関担当者会議 ・都道府県看護協会教育担当者会議 8/8 ク 2025年度教育事業説明会 3/19：52名

2. 看護学会の開催等学術研究の振興に関する事業（公益目的事業）

看護研究に取り組む意欲のある者に対する学術研修を振興させるため、看護研究に関する学会の開催等を行う。

事業項目	内 容
(1) 学会等学術の振興に関する事業	ア 第43回佐賀県看護研究学会の開催企画運営 令和7年3月15日（土） 佐賀市文化会館 ・発表演題数：口演 7題、示説 4題 ・参加者：一般 182名、学生 66名、運営委員 38名 計 286名 ① 看護研究演題の選考・支援 ② 「第43回佐賀県看護研究学会抄録集」の発行 イ 看護研究推進・相談・支援 ① 教育プログラムによる研修支援 ・チャレンジ！看護研究～看護研究に不安なく取り組むために～ 4/26：8名 ・プレゼンテーションのスキルアップを目指して ～看護研究成果を100%伝えよう～ 8/27：12名 ・看護研究に使える統計学～データを図表化してみる～ 9/12、13：7名 ・Let's！理論的思考と読み手に伝わる文章を作ろう 10/24：15名 ② 研究倫理委員会 タイムリーな会議の開催 ウ 日本看護協会との連携

事業項目	内 容
(2) 図書室運営に関する事業	ア 図書室の充実 ① 図書室の利用・閲覧 138名（含非会員5名） ② 図書・教材等の整備 PC利用：5名 ③ 文献情報の提供 ④ 文献活用の支援 ⑤ 図書貸出業務 120名（209冊） イ 日本看護協会との連携 ・都道府県看護協会図書室担当者研修会 9/12

3. 看護業務、看護制度の改善に関する事業（公益目的事業）

看護業務及び看護制度に関して職能集会等を通じて看護業務の改善、看護制度の改善・普及啓発を図り看護の質を向上させる。

事業項目	内 容
(1) 看護業務の改善に関する事業	ア 職能委員会活動 ① 保健師職能委員会・集会 7/3、8/8、9/30、11/29、1/24、2/22、3/10 「保健師とワークエンゲイジメント～保健師がいきいきと働くために～」 2/22：28名 ② 保健指導ミーティング 1/24：43名 ③ 中堅期保健師研修 6/24：16名 ④ 全国保健師職能委員長会 8/2、3/7 ⑤ 助産師職能委員会・集会 4/10、5/8、7/3、9/4、10/9、11/9、1/8、2/12、3/12 「災害時小児周産期リエゾンの概要説明とPEACE入力訓練」 「熊本地震の実際とその後の対策について」11/9：29名 ⑥ 全国助産師職能委員長会 8/2、3/7 ⑦ 看護師職能Ⅰ委員会・集会 7/3、9/11、10/11、11/30、1/14、2/1、3/18 「災害サイクルに沿った看護管理～被災県の病院から患者を受け入れる上での準備体制～」 体験報告「被災病院から患者を受け入れて」11/30：48名 ⑧ 全国看護師職能Ⅰ委員長会 8/2、3/7 ⑨ 看護師職能Ⅱ委員会・集会 7/3、8/6、9/10、10/8、11/16、1/14、2/1、3/11 「施設での看取り～施設看護師と訪問看護師の連携～」11/16：29名 ⑩ 全国看護師職能Ⅱ委員長会 8/2、3/7 ⑪ 看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修会 「看護の力で地域をつなぐ看・看連携の輪」2/1：56名 イ 地方公共団体等への政策提言
(2) 看護制度の改善に関する事業	ア 特定行為に係る看護師の研修制度に関する情報の提供と啓発 ① 日本看護協会と連携した情報の発信 ② 広報活動の推進 イ 看護大学への支援 ・西九州大学看護学部外部評価 9/12 ウ 准看護師への支援

事業項目	内 容
(3) 医療・看護の安全対策に関する事業	① 准看護師研修・交流会開催（会員・非会員） 11/7：6名 ・看護師養成2年課程（通信制）に関する情報提供 ・日本看護協会奨学金制度の紹介 ・准看護師からの相談対応 ・法令に基づく看護師・准看護師の役割・業務分担の推進 「看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン及び活用ガイド」の普及・活用促進 ・機関誌（さが看護協会だより）にて情報提供（会員・非会員） エ 看護師教育制度に関する情報提供 ① 看護基礎教育制度改革の推進（看護師基礎教育4年制化推進に向けた情報発信） ② 佐賀県看護師等養成機関連絡協議会 2回/年 7/12、2/20 ③ 看護師を目指す中・高校生、社会人への対応 ④ 中・高校生への進学指導教師への看護進学に関する情報の提供 ⑤ 県民への啓発 オ 看護制度委員会 カ 日本看護協会との連携・全国看護基礎教育担当役員会議（Web） 2/4
	ア 医療安全管理体制の推進 ① 医療安全管理者養成研修（日本看護協会との連携研修） 11/29：30名 ② 医療安全交流会 12/14：65名 テーマ：「患者さんの状態が変わったらどのように伝えますか？ ～SBARを用いた報告を学ぼう！～」 ③ 医療安全相談対応（HP掲載） ④ 佐賀県医療事故調査等支援団体連絡協議会との連携（医師会主催・Web） 2/17 ⑤ 佐賀県医療安全推進協議会との連携（健康福祉部医務課主催） 2/6 イ 医療看護安全啓発 ① 医療安全情報提供（ホームページ掲載等） ② 医療安全推進週間啓発ポスター掲示 ウ 看護職賠償責任保険の情報提供 エ 医療・看護安全推進委員会 <年間7回、医療安全（管理者）交流会含む> 5/27、7/31、8/19、10/4、12/3、12/14、2/10 オ 日本看護協会との連携 ・医療事故調査制度に関する情報交換会（Web） 9/18

4. 在宅ケアサービス等による県民の健康及び福祉の推進に関する事業（公益目的事業）

訪問看護・居宅介護事業での健康相談・啓発等を行うことにより「人々の健康な生活の実現」をより地域に密着して行う事業である。

事業項目	内 容
(1) 訪問看護ステーション事業	ア 質の高い訪問看護サービスの提供 ・利用者数：1,308名 ・訪問回数：11,122回 ・新規利用者数：75名 ・終了者数（在宅死）：70名（19名） イ 経営の安定化にむけた対策の継続 訪問看護アドバイザーの活用 ウ 訪問看護師の質の向上及び職員体制の強化 ・特定行為研修修了者の活用 ・特定行為研修等受講の推進・支援

事業項目	内 容
	エ 介護者・家族へのサポート強化 オ 在宅サービス提供者との連携強化 カ 実習生の受け入れ、教育研修への積極的な協力（119日間 51名 延人数 241名） ・佐賀女子高校衛生看護専攻科：4/20～4/26（5日間 2名） ・西九州大学看護学部：5/13～8/2（50日間 20名） ・佐賀県医療センター好生館看護学院：7/8～7/15（5日間 2名） ・佐賀大学看護学部統合実習：7/16～7/26（9日間 1名） ・NHO佐賀病院 訪問看護ステーション見学実習：8/26～29（3日間 3名） 10/16～17（2日間 1名） ・佐賀県医療センター好生館 臨床実践「退院支援」研修：9/2～9/20（14日間 14名） ・佐賀大学医学部附属病院 訪問看護ステーション実習：10/1～10/4（4日間 4名） ・認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修：10/8～10/11（2日間 2名） ・訪問看護師養成講習会：10/21～10/30（3日間 3名） ・佐賀大学医学部看護学科在宅看護学部実習：11/5～2/12（27日間 8名） ・佐賀市医師会立看護専門学校：2/17～3/28（16日間 4名） キ 各種訪問看護関連研修会・学会への参加 会議・委員会：13回 研修会：35回（67名）
(2) 訪問看護サポートセンター事業	ア 人材育成・人材確保事業 ① 訪問看護の質の向上のための研修 ・「訪問看護における感染対策～私たちができること～」 5/25：28名 ・「フットケア実技編」～デザインをイメージしてフットケアしよう～ 6/29：26名 ・「新しい糖尿病治療と看護」 7/12：27名 ・「新生児の在宅移行支援」 8/23：14名 ・「大人の発達障害 ～生きづらさへの理解～」 9/14：21名 ・「終末期の症状緩和」 11/29：60名 ・「在宅での体験を共有する」～事例に学ぶ訪問看護～ 12/21：30名 ・「褥瘡対策の基本～在宅における褥瘡予防とケアのポイント～」 2/15：23名 ② 新卒等訪問看護師の育成支援（2年目：1名） ③ 訪問看護ステーション管理者研修 ・「看護管理者自身のケアとコミュニケーションスキル ～心理的安全性の誤解と本質を改めて学ぶ～」 10/25：23名 ・「訪問看護ステーションの管理者を経験して」 1/18：14名 ④ 医療機関からの交流派遣研修 ⑤ 看護職、看護学生等研修生受入 イ 小規模事業所支援事業 ① 研修会、勉強会への講師派遣 4/22、5/15、5/16、5/28、5/29、6/12、7/20、8/17、9/18～20、11/11、 11/16、1/9 ② 新任看護師の実施研修受け入れ支援 ③ 医療機関と訪問看護事業所との交流 ウ 相談対策事業 ① 訪問看護事業所等からの訪問看護等に関する相談対応 相談件数：416件（電話相談：403件、来所相談：5件、メール/FAX：8件） エ 普及啓発事業 ① 広報

事業項目	内 容
	・ホームページ掲載 毎月1日付の訪問看護ステーションの情報更新、今年度の研修予定 新規開設訪問看護ステーションのホームページ掲載（24箇所）
(3) 居宅介護支援事業	オ その他の事業 ア 居宅介護支援の推進 ① 利用者確保・サービス計画作成件数：826件 ② 介護支援サービスの調整
(4) 地域密着型サービス事業（複合型サービス事業）	ア 複合型サービスの普及・促進 ① 利用者の状態に応じた柔軟なサービス提供・利用者数：200名 ② 複合型サービスの普及・促進 ③ 地域における関係機関との連携強化
(5) その他の事業	ア 訪問看護に関わる関連団体との連携・協力 ① 佐賀県訪問看護推進連絡協議会との連携 ② 訪問看護振興財団との連携 ③ 都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議（Web） 11/14 ④ 日本看護協会との連携 ⑤ 訪問看護推進委員会 5/7 イ 訪問看護ステーションの広報の充実 ① 訪問看護ステーションホームページ更新 ② 地域住民へのステーションイベントへの招待 訪問看護PR ・ケアステーション野の花地域交流会 6/22：「いつまでも自分らしく過ごすための美容」 参加者：16名 1/18：「腸活について学ぼう」 参加者：14名 ウ 訪問看護ステーション運営会議 年4回（5/21、8/27、11/26、2/19）

5. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業（公益目的事業）

看護職が働きつづけられる職場環境づくりを推進し、看護職の就業促進、離職防止・定着を図る事により、医療事故の防止及び看護職員不足の解消を実現し、看護の質の維持・向上を通じて公衆衛生を向上させる事業を行う。

事業項目	内 容
(1) 働きやすい労働環境づくりの推進	ア 看護職の定着促進のための労働環境改善 ① 日本看護協会との連携 ・都道府県看護協会看護労働担当国会議 7/18 ・都道府県看護協会政策責任国会議 9/19 ② 佐賀県等との連携 ・医療勤務環境改善支援センター運営協議会（Web） 8/1、3/13 ③ 社会経済福祉委員会 7/3、8/6、9/13、10/28、12/9、1/17、3/28 ④ 就業継続が可能な看護職の働き方の提案の周知・促進 ⑤ 看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェアに関するガイドライン及び活用ガイドの周知 ⑥ 看護職員の処遇改善に向けた取り組みの推進

事業項目	内容
(2) 看護職の就業支援事業	ア ナースセンター事業の推進（佐賀県からの委託） ① ナースバンク事業 ・無料職業紹介事業 - ナースセンター相談状況 4,641件（求職：4,104件、求人：440件、進路：18件、その他：79件） ・NCCSによる求人・求職の登録・管理・支援・推進 ・看護職員離職・需要調査（県内全医療関係機関・施設） - 対象894施設（回答 643施設 回収率 71.9%） ・移動職業相談 県内6か所のハローワークにおける移動就業相談 204件 ② 看護のこころ普及・啓発 ・看護の日・看護週間行事の実施 ・「看護の日」イベント 5/12：30名（高校8校） ・日本看護協会LIVE配信（*）、交流会、進路相談 *（忘れられない看護エピソード、“さあ、看護の未来を見つけにいこう”トークセッション） ・PR（ラッピング）バス運行に合わせたイベントの実施（5/16） - 出発式、出前授業（小学校1校）、バス運行（4病院、大学1校、看護学校2校）、災害支援ナース広報 ・独自実施：7施設 参加者：658名 ・ナースセンター事業の広報活動の強化（非会員医療施設への機関誌配布） ・ポスター・チラシ（仕事相談・復職支援研修）の配布 - 病院・診療所（178箇所）、市町役所（20箇所）、商業施設（9箇所）、ハローワーク（6箇所） ・広報誌による啓発（仕事相談・復職支援研修）：20市町 ・テレビ、ラジオへの放送依頼（復職支援研修）：3社 ・メール（復職支援研修）：2回（eナースセンター登録者・離職届出登録者） ・新聞掲載（看護補助者確保定着推進事業）：2回 ・病院訪問：鹿島市2箇所、武雄市1箇所 ・看護夢ナビ事業 ・看護ふれあいフェスタ 9/28：30名 ・ふれあい看護体験の企画・実施への支援 - 参加高校：23校（266名）、実施施設：33医療機関（7/17～8/21） ・看護職志望者への広報 進路相談・PR ・出前講座（中学・高校生への職業講話） ・中学・高校進路指導教師への看護進学に関する情報の提供 ③ 看護職員の復職支援強化事業 ・潜在看護職員のニーズに対応した再就業支援研修開催 ・求人求職合同面談会：福祉のお仕事合同就職説明会 - 相談者 7/5：2名、2/6：2名 ・看護職員の復職支援強化事業 - 看護師等の届出サイト「とどけるん」の周知、登録推進、施設訪問説明 - 離職届出登録者数：70名（うち求職登録者数：21名） ④ 看護補助者の確保・定着推進事業 ・オンデマンド研修：5名受講 ・看護補助者のお仕事説明会・就業セミナー「看護補助者として働いてみませんか」 <HW佐賀> 9/12：11名受講 個別相談：2名 1/21：9名受講 個別相談：4名

事業項目	内 容
	＜HW鳥栖＞ 11/11：2名受講 個別相談：1名 ・移動職業相談（10月～）県内6か所のハローワークにおける移動就業相談：7件 イ ナースセンター事業担当者会議・研修会 ・都道府県ナースセンター事業担当者会議（Web） 5/21、11/28 ・地区別ナースセンター事業担当者意見交換会（Web） 7/24、9/12 ウ ナースセンター相談員連絡会 エ 行政・関係機関との連携強化 医療勤務環境改善支援センターとの連携 ・ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡調整会議 6/29 ・ハローワーク移動相談員研修 7/23：受講者8名 テーマ：看護師と看護補助者の転職を支援する 「人生100年時代の求職者支援を改めて考える」 ・「地域における看護職員確保推進事業」の取り組み（伊万里地区） チラシ配布：ハローワーク（伊万里200枚、唐津30枚、武雄30枚）伊万里市役所30枚 11/8：求職者への研修会（HW伊万里） 3名受講 12/14：求人側への研修会（伊万里市内医療機関会議室） 44名受講 ・看護職確保対策協議会 3/17 カ 会議、研修会等での周知 ナースセンター事業に関する検討委員会 6/20、12/17

6. 災害による被災者の支援に関する事業（公益目的事業）

災害時の看護支援活動に備え、日本看護協会やそのネットワークと連携し、体制の整備と派遣活動を行う。一方佐賀県との連携を図り、その体制を構築し、災害看護活動を行う事業である。

事業項目	内 容
(1) 災害時看護活動に関する事業	ア 災害支援ナースの育成 ① 災害支援ナース養成研修（災害・感染症） ・災害（10/11：51名受講） ・感染（10/21：50名受講） ② 災害支援ナース交流会 12/10：34名 イ 災害支援活動推進事業 ① 災害支援ナース登録促進と体制づくり ② 災害支援ナースの育成・登録の推進登録者：88名 ③ 災害看護支援要綱及びマニュアル改定 ④ 災害看護委員会 6/19、8/21、9/18、10/29、12/10、2/12 ⑤ 佐賀県防災会議、災害訓練等への参画 ⑥ 都道府県看護協会健康危機管理担当者会議（Web） 12/19 ウ 感染症拡大及び災害発生時における看護職員確保体制の整備・強化 ① 日本看護協会・行政・医療機関等と連携した看護師派遣の推進 ② ナースセンターと連携した潜在看護職員等人材確保の推進

7. 保健・医療・福祉に関する知識の普及啓発に関する事業

地域での健康相談・啓発等を行うことにより「人々の健康な生活の実現」をより地域に密着して行う事業である。

事業項目	内 容
(1) 看護の普及活動事業	ア 看護の日・看護週間行事の実施（再掲） ・佐賀県看護協会主催 看護の日・看護週間の周知 中学生・高校生を対象とした広報活動の強化 ポスター・チラシ等の配布・活用
(2) 看護体験等による普及啓発活動	ア 看護体験を主とした普及活動 看護夢ナビ事業（再掲） 看護ふれあいフェスタ 看護夢ナビ事業推進委員会 6/11、9/4、2/17 イ 看護師になるための進路相談 ① 中学生・高校生への進路相談・PR ② 出前講座（小学校・中学校・高校への職業講話） 5/16 看護の仕事（看護の日イベント） ：看護師1名派遣（小城市立桜岡小学校6年生：66名） 11/22 総合的な学習の時間「12才のハローワーク～仕事や職業について考えよう～」 ：看護師1名派遣（佐賀市立新栄小学校6年生：83名 5年生：53名） ③ 中・高進路指導教師への看護進学に関する情報の提供
(3) 地域住民の健康づくり事業	ア 健康相談事業の充実 ① まちの保健室事業 4/14：小城市健康スポーツセンターアイル（委員会） 相談者：24名 5/11：ゆめタウン佐賀（中部地区支部） 相談者：48名 ：佐賀玉屋（南部地区支部） 相談者：20名 ：ゆめタウン武雄（西部地区支部） 相談者：71名 ：なかよし村北波多店（北部地区支部） 相談者：25名 5/12：吉野ヶ里夢ロマン軽トラ市（東部地区支部） 相談者：15名 9/14：イオンモール佐賀大和（中部地区支部） 相談者：24名 ：ひぜん祐徳温泉宝の湯（西部地区支部） 相談者：28名 10/6：吉野ヶ里夢ロマン軽トラ市（東部地区支部） 相談者：77名 10/19：鏡山温泉茶屋美人の湯（北部地区支部） 相談者：3名 10/20：小城市健康スポーツセンターアイル（委員会） 相談者：38名 10/26：佐賀玉屋（南部地区支部） 相談者：15名 ② 生活習慣病予防に関する啓蒙活動 ③ がん看護・緩和ケアに関する相談 ④ 各イベントでの健康相談 ⑤ まちの保健室事業推進委員会 9/9 イ 出前事業 ① 思春期教育出前講座（小学校、中学校、高校、PTA等） 9/18 性教育「いのちを見つめる学習」：助産師2名派遣（小城市立砥川小学校） ② 性感染症の知識と予防普及 高校生エイズ予防講演会：助産師各1名派遣 11/11：鹿島高校大手門学舎、11/12：鹿島高校赤門学舎、11/17：武雄高校 ウ 健康に関する研修会の開催 エ 地域行政との連携 地域住民に関する保健医療関連行事等への参加協力

8. 施設の貸与事業（収益事業）

事業項目	内 容
(1) 施設の貸与推進	ア 施設の活用 ① 関連団体への貸出、研修会、会議室等の貸出 15件

9. その他本会の目的を達成するために必要な事業（公益目的事業／収益事業／法人事業）

事業項目	内 容
(1) 組織強化	ア 会員の増加拡大 ① 新入会者や入会者への特典の実施 ・新入会者の1回の研修無料 ポイント制の広報 ② 会員の効率的な登録管理 ③ 加入者・未加入施設及び福祉介護施設に本会機関誌、研修計画冊子を送付 ④ 看護学校入学式・戴帽式・卒業式への出席 ・入学式（出席：7校 お祝いメッセージ：4校） ・戴帽式等（出席：7校） ・卒業式（出席：8校 お祝いメッセージ：3校） ⑤ 学生と新卒者へのPR 会員委員会の活動 ・看護学校への卒業前訪問実施：10校（2/18～3/4） ⑥ 退職会員への加入継続の働きかけ ⑦ 地区支部への連携・支援 ・各支部との情報交換による連携強化 ・地区支部活動への支援 ⑧ 日本看護協会との連携 会員管理システムの運用
(2) 円滑な組織運営	ア 総会の開催 ① 通常総会 2024年6月16日（日）ドゥイニング三日月 参加者：会場451名、委任状3,562名 イ 組織運営に関する会議の開催、運営 ① 理事会 年8回以上 4/20、5/25、6/16、7/6、8/24、10/12、12/7、2/1、3/8 ② 常任理事会 年8回以上 4/15、5/20、7/2、8/19、10/7、12/2、1/27、3/3 ③ 会計監査 2023年度事業会計監査 5/8 ④ 合同職能委員・常任委員会 年1回 7/3 ⑤ 地区支部長会議 年1回以上 7/6 ⑥ 各職能委員会 ⑦ 常任委員会 ①社会経済福祉委員会 ②教育委員会 ③広報出版委員会 ④会員委員会 ⑤推薦委員会 ⑥選挙管理委員会 ⑧ 特別委員会 ①医療・看護安全推進委員会 ②看護夢ナビ事業推進委員会 ③訪問看護推進委員会 ④看護制度委員会 ⑤認定看護管理者教育運営委員会 ⑥まちの保健室事業推進委員会 ⑦災害看護委員会 ⑧研究倫理委員会 ウ 日本看護協会との連携 ① 日本看護協会通常総会代議員・予備代議員研修会 5/25 ② 日本看護協会通常総会出席（代議員5名） 2024年6月6日（木）東京国際フォーラム（東京都） ③ 全国職能別交流集会 2024年6月7日（金）東京国際フォーラム（東京都）

事業項目	内 容
	④ 日本看護協会理事会 6回/年 5/10、6/6、7/25、9/20、11/28、2/27 ⑤ 中央法人会員会 5回/年 5/10、7/26、9/20、11/29、2/28 ⑥ 地区別法人会員会及び職能委員長会 2024年10月31日、11月1日（開催地：熊本県） ⑦ 都道府県看護協会各担当学会議出席 エ 選挙管理委員会 5/27、6/16、3/21 オ 推薦委員会 7/24、9/25、10/23 ① 改正役員等及び推薦候補者の推薦 ② 日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補者の推薦 カ 運営体制の整備 ① 業務分掌の検討 ② 諸規定の整備 キ 会員登録事務 ① 新規・継続会員の受付、ナースシップの運用・管理 ② 都道府県看護協会会員情報管理情報交換会
(3) 協会活動に関する広報活動推進	ア 機関誌発行 ① さが看護協会だより 5月号、9月号、1月号 ② 広報出版委員会 4/24、6/5、7/3、8/28、9/11、10/9、11/13、12/11、2/12、3/12 ③ ホームページ活用
(4) 地域社会への広報活動	ア 実施内容は、「7. 保健・医療・福祉に関する知識の普及啓発に関する事業」参照
(5) 行政機関・関連団体との連携	ア 行政・関連機関・他団体委員会への参画 114回（含Web・書面） イ 看護連盟、四師会との情報交換 看護協会・看護連盟情報連絡会議：4/15、7/2、8/19、10/7、12/2、1/27、3/3 佐賀県看護協会佐賀県看護連盟合同研修会 10/26：43名 四師会（医師会、薬剤師会、歯科医師会） 2/4 ウ 関係団体の後援・推薦・協賛等への協力 医療・救護業務への協力（高校総体・SAGA2024国スポ・全障スポ等） ① 名義後援：24件 ② 看護師派遣 ・SAGA2024全国障害者スポーツリハーサル大会：4/28、6/8～9（3日間・17競技） 24名 ・SAGA2024国民スポーツ競技別リハーサル大会：6/14～23（5日間・2競技） 5名 ・全国高等学校総合体育大会：7/24～8/20（21日間・7競技） 50名 ・SAGA2024国民スポーツ大会：9/2～10/15（38日間・37競技） 189名 ・SAGA全国障害者スポーツ大会：10/19～10/28（4日間・14競技） 63名 ・さが桜マラソン：3/23 41名
(6) 会員の福利厚生	ア 会員表彰 ・日本看護協会長表彰：1名 ・佐賀県看護協会長表彰：21名 イ 各種表彰候補者推薦等 ・看護業務功労者知事感謝状受賞：9名 ウ 会員特典の運用や広報 エ 会員の慶事等 結婚式祝電：4件 弔電：1件 オ レジャー施設入場支援 ① 保養施設の優待、佐賀マッサージ協会優待

報告事項 2

令和 7 年度 事業計画

本会は、公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業並びに、その公益目的事業の推進に資するための収益事業等を公益社団法人日本看護協会と連携し、以下のとおり行う。

- 事業計画は、定款第 4 条の 9 つの事業に沿って掲載
- 1. 教育等看護の質の向上に関する事業
 - 2. 看護学会の開催等学術研究の振興に関する事業
 - 3. 看護業務、看護制度の改善に関する事業
 - 4. 在宅ケアサービス等による県民の健康及び福祉の推進に関する事業
 - 5. 看護職の労働環境等の改善促進に関する事業
 - 6. 災害による被災者の支援に関する事業
 - 7. 保健・医療・福祉に関する知識の普及に関する事業
 - 8. 施設の貸与事業
 - 9. その他本会の目的を達成するために必要な事業

- 【重点事業】
- 1. 地域包括ケアを支える看護機能の強化
 - 2. 働き続けられる職場環境づくりと人材確保・定着の推進
 - 3. 質の高い看護実践を支える生涯学習の推進
 - 4. 会員拡大による組織強化
 - 5. 地域の健康危機管理体制の構築

下線は変更事項

1. 教育等看護の質の向上に関する事業（公益目的事業）

看護職に対する看護教育を実施・充実することを通して、看護職の専門職としての能力の維持・向上及び人間性のある看護職の育成を図る。

事業項目	内 容
(1) 看護教育及び看護の質の向上に関する事業	ア 継続教育の企画、実施 ・一般研修 <u>34コース</u> ・2025年度 研修計画の企画・研修計画冊子の作成・広報 イ 認定看護管理者研修 ・認定看護管理者教育課程ファーストレベル 114時間 ウ 佐賀県委託研修 ① 新人看護職員等研修会 ・新人看護職員多施設合同研修 ・新人看護職員教育担当者研修会 ② 保健師助産師看護師実習指導者講習会 ③ 保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野） ④ がん看護研修会 ・基礎編研修 5 日間コース・ELNEC-J研修 2 日間コース ⑤ 訪問看護師養成講習会 ⑥ 看護職再就業支援研修会 ・スキルアップ 4 日間コース（看護センター）・3 日間コース（唐津赤十字病院） ・体験コース 2 日間コース ・技術セミナー 4 回/年 ⑦ 看護職員認知症対応力向上研修 ⑧ 病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修 エ JNA収録DVD研修 ① 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 オ その他の研修（支部における研修を含む） ① <u>医療安全管理者養成研修（eラーニング＋演習）</u>

事業項目	内 容
	② <u>認知症高齢者の看護実践に必要な知識（eラーニング＋演習）</u> ③ <u>外来における在宅療養支援能力向上のための研修（eラーニング＋演習）</u> ④ 地区支部における研修会 カ 委員会 ① 教育委員会 ② 認定看護管理者教育運営委員会 5回/年 キ 日本看護協会との連携 ・認定看護管理者教育機関担当者会議 ク 2026年度教育事業説明会

2. 看護学会の開催等学術研究の振興に関する事業（公益目的事業）

看護研究に取り組む意欲のある者に対する学術研修を振興させるため、看護研究に関する学会の開催等を行う。

事業項目	内 容
(1) 学会等学術の振興に関する事業	ア 第44回佐賀県看護研究学会の開催企画運営 令和8年2月23日（月）東与賀文化ホール ① 看護研究演題の選考・支援 ② 「第44回佐賀県看護研究学会抄録集」の発行 イ 看護研究推進・相談・支援 ① 教育プログラムによる研修支援 ② 研究倫理委員会 タイムリーな会議の開催 ウ 日本看護協会との連携
(2) 図書室運営に関する事業	ア 図書室の充実 ① 図書の閲覧・貸出 ② 図書・教材等の整備 ③ 文献情報の提供 ④ 文献活用の支援 ⑤ 図書貸出業務 イ 日本看護協会との連携 ① 都道府県看護協会図書室担当者研修会

3. 看護業務、看護制度の改善に関する事業（公益目的事業）

看護業務及び看護制度に関して職能集会等を通じて看護業務の改善、看護制度の改善・普及啓発を図り看護の質を向上させる。

事業項目	内 容
(1) 看護業務の改善に関する事業	ア 職能委員会活動 ① 保健師職能委員会・集会 ② 保健指導ミーティング ③ 中堅期保健師研修 ④ 全国保健師職能委員長会 ⑤ 助産師職能委員会・集会 ⑥ 全国助産師職能委員長会 ⑦ 看護師職能Ⅰ委員会・集会 ⑧ 全国看護師職能Ⅰ委員長会 ⑨ 看護師職能Ⅱ委員会・集会

事業項目	内 容
(2) 看護制度の改善に関する事業	⑩ 全国看護師職能Ⅱ委員長会 イ 地方公共団体等への政策提言 ア 特定行為に係る看護師の研修制度に関する情報の提供と啓発 ① 日本看護協会と連携した情報の発信 ② 広報活動の推進 イ 看護大学への支援 ウ 准看護師への支援 ① 准看護師研修・交流会開催（会員・非会員） ・看護師養成2年課程（通信制）に関する情報提供 ・日本看護協会奨学金制度の紹介 ・准看護師からの相談対応 ・法令に基づく看護師・准看護師の役割・業務分担の推進 「看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン及び活用ガイド」の普及・活用促進 ・機関誌（さが看護協会だより）にて情報提供（会員・非会員） エ 看護師教育制度に関する情報提供 ① 看護基礎教育制度改革の推進（看護師基礎教育4年制化推進に向けた情報発信） ② 佐賀県看護師等養成機関連絡協議会 2回/年 ③ 看護師を目指す中・高校生、社会人への対応 ④ 中・高校生への進学指導教師への看護進学に関する情報の提供 ⑤ 県民への啓発 オ 看護制度委員会 カ 日本看護協会との連携 ・全国看護基礎教育担当役員会議
(3) 医療・看護の安全対策に関する事業	ア 医療安全管理体制の推進 ① 医療安全管理者養成研修会 ② 医療安全交流会 ③ 医療安全相談対応（HP掲載） ④ 佐賀県医療事故調査等支援団体連絡協議会との連携（医師会主催） 年1回 ⑤ 佐賀県医療安全推進協議会との連携（健康福祉部医務課主催） 年1回 イ 医療看護安全啓発 ① 医療安全情報提供（ホームページ掲載等） ② 医療安全推進週間啓発ポスター掲示 ウ 看護職賠償責任保険の情報提供 エ 医療・看護安全推進委員会 <年間6回、医療安全（管理者）交流会含む> オ 日本看護協会との連携

4. 在宅ケアサービス等による県民の健康及び福祉の推進に関する事業（公益目的事業）

訪問看護・居宅介護事業での健康相談・啓発等を行うことにより「人々の健康な生活の実現」をより地域に密着して行う事業である。

事業項目	内 容
(1) 訪問看護ステーション事業	ア 質の高い訪問看護サービスの提供 イ 経営の安定化にむけた対策の継続 訪問看護アドバイザーの活用 ウ 訪問看護師の質の向上及び職員体制の強化 ・特定行為研修修了者の活用

事業項目	内容
	・特定行為研修等受講の推進・支援 エ 介護者・家族へのサポート強化 オ 在宅サービス提供者との連携強化 カ 実習生の受け入れ、教育研修への積極的な協力 キ 各種訪問看護関連研修会・学会への参加
(2) 訪問看護サポートセンター事業	ア 人材育成・人材確保事業 ① 訪問看護の質の向上のための研修 ② 新卒等訪問看護師の育成支援 ③ 訪問看護ステーション管理者研修 ④ 医療機関からの交流派遣研修 ⑤ 看護職、看護学生等研修生受入 イ 小規模事業所支援事業 ① 研修会、勉強会への講師派遣 ② 新任看護師の実施研修受け入れ支援 ③ 医療機関と訪問看護事業所との交流 ウ 相談対策事業 ① 訪問看護事業所等からの訪問看護等に関する相談対応 エ 普及啓発事業 ① 広報 オ その他の事業
(3) 居宅介護支援事業	ア 居宅介護支援の推進 ① 利用者確保 ② 介護支援サービスの調整
(4) 地域密着型サービス事業（複合型サービス事業）	ア 複合型サービスの普及・促進 ① 利用者の状態に応じた柔軟なサービス提供 ② 複合型サービスの普及・促進 ③ 地域における関係機関との連携強化
(5) その他の事業	ア 訪問看護に関わる関連団体との連携・協力 ① 佐賀県訪問看護推進連絡協議会との連携 ② 訪問看護振興財団との連携 ③ 都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議 ④ 日本看護協会との連携 ⑤ 訪問看護推進委員会（2回/年） イ 訪問看護ステーションの広報の充実 ① 訪問看護ステーションホームページ更新 ② 地域住民へのステーションイベントへの招待 訪問看護PR ウ 訪問看護ステーション運営会議 年4回

5. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進に関する事業（公益目的事業）

看護職が働きつづけられる職場環境づくりを推進し、看護職の就業促進、離職防止・定着を図る事により、医療事故の防止及び看護職員不足の解消を実現し、看護の質の維持・向上を通じて公衆衛生を向上させる事業を行う。

事業項目	内 容
(1) 働きやすい労働環境づくりの推進	ア 看護職の定着促進のための労働環境改善 ① 日本看護協会との連携 ・都道府県看護協会看護労働担当者会議 ・都道府県看護協会政策責任者会議 ② 佐賀県等との連携 医療勤務環境改善支援センター運営協議会 ③ 社会経済福祉委員会 ④ 就業継続が可能な看護職の働き方の提案の周知・促進 ⑤ 看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェアの周知・推進 ・看護補助者との協働推進への取り組み（研修実施、人材確保・定着推進） ⑥ <u>看護職員の処遇改善に関する情報の発信</u>
(2) 看護職の就業支援事業	ア ナースセンター事業の推進（佐賀県からの委託） ① ナースバンク事業 ・<u>専門性を活かした無料職業紹介事業の強化（含看護補助者就業支援）</u> ・NCCSによる求人・求職の登録・管理・支援・推進 ・看護職員離職・需要調査（県内全医療関係機関・施設） 7月実施予定 ・移動職業相談 県内6か所のハローワークにおける移動就業相談 ② 看護のこころ普及・啓発 ・看護の日・看護週間行事の実施 ・ナースセンター事業の広報活動の強化（非会員医療施設への機関誌配布） ・看護夢ナビ事業 ・看護ふれあいフェスタ ・ふれあい看護体験の企画・実施への支援 ・看護職志望者への広報 進路相談・PR ・出前講座（中学生・高校生への職業講話） ・中学・高校進路指導教師への看護進学に関する情報の提供 ③ 看護職員の復職支援強化事業 ・潜在看護職員のニーズに対応した再就業支援研修開催 ・求人求職合同面談会 ・看護職員の復職支援強化事業 - 看護師等の届出サイト「とどけるん」の周知、登録推進施設訪問説明 イ ナースセンター事業担当者会議・研修会 ウ ナースセンター相談員連絡会 エ 行政・関係機関との連携強化 医療勤務環境改善支援センターとの連携 ・「地域における看護職員確保推進事業」の取り組み カ 会議、研修会等での周知

6. 災害による被災者の支援に関する事業（公益目的事業）

災害時の看護支援活動に備え、日本看護協会やそのネットワークと連携し、体制の整備と派遣活動を行う。一方佐賀県との連携を図り、その体制を構築し、災害看護活動を行う事業である。

事業項目	内 容
(1) 災害時看護活動に関する事業	ア 災害支援ナースの育成 ① 災害支援ナース養成研修（災害・感染症）

事業項目	内 容
	② 災害支援ナース等交流会 イ 災害支援活動推進事業 ① 災害支援ナース登録促進と体制づくり ② 災害支援ナースの育成・登録の推進 ③ 災害看護委員会 ④ 佐賀県防災会議、災害訓練等への参画 ⑤ 都道府県看護協会健康危機管理担当者会議 ウ 感染症拡大及び災害発生時における看護職員確保体制の整備・強化 ① 日本看護協会・行政・医療機関等と連携した看護師派遣の推進 ② ナースセンターと連携した潜在看護職員等人材確保の推進

7. 保健・医療・福祉に関する知識の普及啓発に関する事業

地域での健康相談・啓発等を行うことにより「人々の健康な生活の実現」をより地域に密着して行う事業である。

事業項目	内 容
(1) 看護の普及活動事業	ア 看護の日・看護週間行事の実施（再掲） ・佐賀県看護協会主催 看護の日・看護週間の周知 中学生・高校生を対象とした広報活動の強化 ポスター・チラシ等の配布・活用
(2) 看護体験等による普及啓発活動	ア 看護体験を主とした普及活動 看護夢ナビ事業(再掲) 看護ふれあいフェスタ 看護夢ナビ事業推進委員会 イ 看護師になるための進路相談 ① 中学生・高校生への進路相談・PR ② 出前講座（小学校・中学校・高校への職業講話） ③ 中学・高校進路指導教師への看護進学に関する情報の提供
(3) 地域住民の健康づくり事業	ア 健康相談事業の充実 ① まちの保健室事業 ② 生活習慣病予防に関する啓蒙活動 ③ がん看護・緩和ケアに関する相談 ④ 各イベントでの健康相談 ⑤ まちの保健室事業推進委員会（2回/年） イ 出前事業 ① 思春期教育出前講座（小学校、中学校、高校、PTA等） ② 性感染症の知識と予防普及 ウ 健康に関する研修会の開催 エ 地域行政との連携 地域住民に関する保健医療関連行事等への参加協力

8. 施設の貸与事業（収益事業）

事業項目	内 容
(1) 施設の貸与推進	ア 施設の活用 ① 関連団体への貸出、研修会、会議室等の貸出し

9. その他本会の目的を達成するために必要な事業（公益目的事業／収益事業／法人事業）

事業項目	内容
(1) 組織強化	ア 会員の増加拡大 ① 新入会者や入会者への特典の実施 ・新入会者の1回の研修無料 ポイント制の広報 ② 会員の効率的な登録管理 ③ 加入者・未加入施設及び福祉介護施設に本会機関誌、研修計画冊子を送付 ④ 看護学校入学式・戴帽式等・卒業式への出席 ⑤ 学生と新卒者へのPR 会員委員会の活動 看護学校への卒業前訪問実施 ⑥ 退職会員への加入継続の働きかけ ⑦ 地区支部への連携・支援 ・各支部との情報交換による連携強化 ・地区支部活動への支援 ⑧ 日本看護協会との連携 会員管理システムの運用
(2) 円滑な組織運営	ア 総会の開催 ① 通常総会 2025年6月21日（土）佐賀市文化会館 イ 組織運営に関する会議の開催、運営 ① 理事会 年8回以上 ② 常任理事会 年8回以上 ③ 会計監査 2024年度事業会計監査 ④ 合同職能委員・常任委員会 年1回 ⑤ 地区支部長会議 年1回以上 ⑥ 各職能委員会 ⑦ 常任委員会 ①社会経済福祉委員会 ②教育委員会 ③広報出版委員会 ④会員委員会 ⑤推薦委員会 ⑥選挙管理委員会 ⑧ 特別委員会 ①医療・看護安全推進委員会 ②看護夢ナビ事業推進委員会 ③訪問看護推進委員会 ④看護制度委員会 ⑤認定看護管理者教育運営委員会 ⑥まちの保健室事業推進委員会 ⑦災害看護委員会 ⑧研究倫理委員会 ウ 日本看護協会との連携 ① 日本看護協会通常総会代議員・予備代議員研修会 ② 日本看護協会通常総会出席（代議員5名） 2025年6月11日（水）幕張メッセ（千葉県） ③ 全国職能別交流集会 2025年6月12日（木）幕張メッセ（千葉県） ④ 日本看護協会理事会 6回/年 ⑤ 中央法人会 6回/年 ⑥ 地区別法人会及び職能委員長会 2025年10月23日、24日（開催地：大分県） ⑦ 都道府県看護協会各担当者会議出席 エ 選挙管理委員会 オ 推薦委員会 ① 改正役員等及び推薦候補者の推薦 ② 日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補者の推薦 カ 運営体制の整備 ① 業務分掌の検討 ② 諸規定の整備 キ 会員登録事務

事業項目	内 容
	① 新規・継続会員の受付、ナースシップの運用・管理 ② 都道府県看護協会会員情報管理情報交換会
(3) 協会活動に関する広報活動推進	ア 機関誌発行 ① さが看護協会だより ② 広報出版委員会 ③ ホームページ活用
(4) 地域社会への広報活動	ア 実施内容は、「7. 保健・医療・福祉に関する知識の普及啓発に関する事業」参照
(5) 行政機関・関連団体との連携	ア 行政・関連機関・他団体委員会への参画 イ 看護連盟、四師会（医師会、薬剤師会、歯科医師会）との情報交換 ウ <u>関係団体の後援・推薦・協賛等への協力</u> ・医療、救護業務への協力
(6) 会員の福利厚生	ア 会員表彰 イ 各種表彰候補者推薦等 ウ 会員特典の運用や広報 エ 会員の慶事等 結婚式祝電 災害見舞 オ レジャー施設入場支援 ① 保養施設の優待、佐賀マッサージ協会優待

報告事項 3

令和7年度 予算書

令和7年度 収支予算の概要

本会の予算は、20年会計基準に基づき、大きく3つの会計区分となっている。すなわち、「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計」の3つである。

「公益目的事業会計」は、4つの事業に区分され、その内訳は定款で定める9つの事業と、それらに共通する「公益目的事業共通」の事業である。また、「収益事業等会計」は施設の貸与事業、会員福利厚生事業等である。

令和7年度予算は、令和6年度に引き続き重点事業の強化や継続事業の充実などに資金を活用するものとなっている。

また、令和7年度「収支予算書」は、公益社団法人の要件として求められている次の財務三基準を十分に満たす構成となっている。

- (1) 収支相償、これは、公益目的事業に係る収支が費用をこえないこと。すなわち、事業実施に要する費用を上回る収入を上げてはいけない。

公益目的事業の経常収益287,039,000円が公益目的事業の経常費用293,744,000円を超えていない。

- (2) 公益目的事業比率が、収益等事業と法人費用とを加えた事業費全体の50%以上であること。

全事業の経常費用322,012,000円に対する、公益目的事業の経常費用293,744,000円の比率が91.2%と、50%を超えている。

- (3) 遊休財産額、すなわち、現在、今後とも、特に使用されていない財産の価格の合計額が公益目的事業の1年間実施するのに必要な額を超えないこと。

令和7年度の遊休財産見込額は213,027,911円で、公益目的事業の経常費用293,744,000円を超えていない。

収 支 予 算 書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入金金	9,000	10,200	△ 1,200
受取入金金	9,000	10,200	△ 1,200
受取会費	43,200	44,800	△ 1,600
正会員受取会費	43,200	44,800	△ 1,600
事業収益	213,465	210,638	2,827
研修会事業収益	13,350	18,650	△ 5,300
介護保険収益	105,865	92,930	12,935
療養費収益	77,013	82,048	△ 5,035
利用料収益	5,786	6,276	△ 490
居宅介護サービス計画費収益	10,481	9,808	673
施設使用料収益	940	890	50
販売手数料収益	30	36	△ 6
事業受託収益	34,476	32,791	1,685
佐賀県受託事業収益	33,387	31,663	1,724
民間受託事業収益	1,089	1,128	△ 39
受取補助金等	9,068	9,078	△ 10
受取日本看護協会助成金	7,971	7,980	△ 9
受取補助金等振替額	1,097	1,098	△ 1
受取寄付金	6,280	6,584	△ 304
受取寄付金	400	400	0
受取寄付金振替額	5,880	6,184	△ 304
雑収益	676	576	100
受取利息	54	54	0
雑収益	622	522	100
経常収益計	316,165	314,667	1,498
(2) 経常費用			
事業費	295,083	288,496	6,587
役員報酬	2,248	2,248	0
給料手報	137,517	138,079	△ 562
雇員報	30,487	23,302	7,185
講師報	9,824	12,126	△ 2,302
臨時雇用賃金	5,621	5,291	330
退職給付費用	0	0	0
中退金繰入額	4,442	4,016	426
会員福利厚生費	411	411	0
職員福利厚生費	31,628	30,624	1,004
会議費	370	377	△ 7
旅費	3,726	3,942	△ 216
通信運搬費	4,151	3,986	165
通車費	1,930	1,830	100
減価償却費	12,068	12,210	△ 142
医療消耗器材費	380	380	0
衛生材料費	250	350	△ 100
消耗什器備品費	150	150	0
消耗品費	5,749	5,800	△ 51
修繕費	720	720	0
印刷製本費	4,007	3,807	200
燃料水料費	2,149	2,065	84
光熱水借材料費	4,949	5,023	△ 74
賃給食材料費	4,807	4,713	94
給保料	1,620	1,620	0
諸謝金	1,853	1,852	1
租税公課	2,853	2,166	687
支払負担金	3,849	4,394	△ 545
委託託費	428	361	67
支払利息	8,368	8,697	△ 329
支払手数料	1	1	0
支払料	649	664	△ 15

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
雑賞費	140	140	0
管 理 費	7,738	7,151	587
役 員 報 酬	26,929	27,160	△ 231
給 料 手 報 酬	10,349	10,349	0
講 師 報 酬	5,830	5,621	209
中 退 職 金 給 付 入 費	0	0	0
退 職 金 給 付 入 費	250	196	54
職 員 福 利 厚 生 費	0	0	0
会 議 交 通 費	1,979	1,961	18
旅 費 信 託 費	66	66	0
通 減 耗 什 耗 品	2,012	2,492	△ 480
消 耗 什 耗 品	235	235	0
修 繕 製 料 本 料	988	1,088	△ 100
印 刷 料 水 借 險	0	0	0
燃 光 賃 保 租 支 委 支 支 雜 賞 他	225	225	0
熱 水 借 險	100	100	0
公 担 金 費 息 料 費 入 金	740	740	0
税 負 託 利 数	10	10	0
公 担 金 費 息 料 費 入 金	719	624	95
税 負 託 利 数	287	287	0
公 担 金 費 息 料 費 入 金	54	54	0
税 負 託 利 数	14	56	△ 42
公 担 金 費 息 料 費 入 金	468	468	0
税 負 託 利 数	1,879	1,873	6
公 担 金 費 息 料 費 入 金	0	0	0
税 負 託 利 数	20	23	△ 3
公 担 金 費 息 料 費 入 金	20	20	0
税 負 託 利 数	684	672	12
公 担 金 費 息 料 費 入 金	0	0	0
経 常 費 用 計	322,012	315,656	6,356
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,847	△ 989	△ 4,858
損 益 評 価 等 計			0
当 期 経 常 増 減 額	△ 5,847	△ 989	△ 4,858
2. 経常外増減の部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
法 人 税 等	81	0	81
経 常 外 費 用 計	81	0	81
当 期 経 常 外 増 減 額	△ 81	0	△ 81
他 会 計 振 替 額	0	0	0
他 会 計 振 替 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 5,928	△ 989	△ 4,939
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	423,151	427,585	△ 4,434
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	417,223	426,596	△ 9,373
II 指定正味財産増減の部			
受 取 補 助 金 等	0	0	0
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	0	0	0
受 取 国 庫 補 助 金	0	0	0
受 取 寄 付 金	1,000	1,000	0
募 金 収 益	1,000	1,000	0
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 6,977	△ 7,282	305
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 6,977	△ 7,282	305
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△ 5,977	△ 6,282	305
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	269,568	269,578	△ 10
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	263,591	263,296	295
III 正味財産期末残高	680,814	689,892	△ 9,078

収 支 予 算

令和7年4月1日から

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				
	看護センター各事業	訪問看護Ⅰ事業	介護支援Ⅰ事業	複合型事業	小 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取入金会金	4,500	0	0	0	4,500
受取入金会金	4,500	0	0	0	4,500
受取会費	21,600	0	0	0	21,600
正会員受取会費	21,600	0	0	0	21,600
事業収益	13,350	106,863	10,481	81,801	212,495
研修会事業収益	13,350	0	0	0	13,350
介護保険収益	0	27,534	0	78,331	105,865
療養費収益	0	77,013	0	0	77,013
利用料収益	0	2,316	0	3,470	5,786
居宅介護サービス計画費収益	0	0	10,481	0	10,481
施設使用料収益	0	0	0	0	0
販売手数料収益	0	0	0	0	0
事業受託収益	24,348	9,584	0	0	33,932
佐賀県受託事業収益	23,803	9,584	0	0	33,387
民間受託事業収益	545	0	0	0	545
受取補助金等	7,971	1,061	0	36	9,068
受取日本看護協会助成金	7,971	0	0	0	7,971
受取補助金等振替額	0	1,061	0	36	1,097
受取寄付金	4,989	0	0	0	4,989
受取寄付金	200	0	0	0	200
受取寄付金振替額	4,789	0	0	0	4,789
雑収	50	401	2	2	455
受取利息	50	1	1	1	53
雑収	0	400	1	1	402
経常収益計	76,808	117,909	10,483	81,839	287,039
(2) 経常費用					0
事業費	82,647	119,819	12,367	78,911	293,744
役員報酬	2,248	0	0	0	2,248
給料手当	23,394	58,515	9,190	46,290	137,389
雇員報酬	1,276	18,385	0	10,826	30,487
講師報酬	9,443	341	0	40	9,824
臨時雇賃金	5,621	0	0	0	5,621
中退金	490	2,280	420	1,248	4,438
会員福利厚生費	0	0	0	0	0
職員福利厚生費	5,362	14,569	1,659	10,016	31,606
会議費	323	27	10	10	370
旅費	3,267	369	30	60	3,726
通信運搬費	1,477	2,362	134	78	4,051
車両費	0	1,160	0	770	1,930
減価償却費	5,850	5,357	0	754	11,961
医療消耗器材費	0	280	0	100	380
衛生器材費	0	200	0	50	250
消耗什器備品費	0	100	0	50	150
消耗品費	3,556	1,643	48	482	5,729
修繕費	100	300	0	300	700
印刷製本費	3,297	500	10	200	4,007
燃料費	50	1,404	15	660	2,129
光熱水料費	2,207	1,145	42	1,476	4,870
賃借料	3,025	1,473	35	270	4,803
給食料費	0	0	0	1,620	1,620
保険料	161	1,359	40	286	1,846
諸謝金	1,831	1,022			2,853
租税公課	2,461	1,261	5	120	3,847

書 内 訳 表

令和8年3月31日まで

(単位：千円)

収 益 事 業 等 会 計			法 人 会 計	内部取引消去	合 計
収 1	他 1	小 計	法 人 会 計	一 般 事 業	
0	0	0	4,500	0	9,000
0	0	0	4,500	0	9,000
0	1,000	1,000	20,600	0	43,200
0	1,000	1,000	20,600	0	43,200
970	0	970	0	0	213,465
0	0	0	0	0	13,350
0	0	0	0	0	105,865
0	0	0	0	0	77,013
0	0	0	0	0	5,786
0	0	0	0	0	10,481
940	0	940	0	0	940
30	0	30	0	0	30
0	0	0	0	0	34,476
0	0	0	0	0	33,387
0	0	0	544	0	1,089
0	0	0	0	0	9,068
0	0	0	0	0	7,971
0	0	0	0	0	1,097
107	0	107	1,184	0	6,280
0	0	0	200	0	400
107	0	107	984	0	5,880
20	0	20	201	0	676
0	0	0	1	0	54
20	0	20	200	0	622
1,097	1,000	2,097	27,029	0	316,165
421	918	1,339	0	0	295,083
0	0	0	0	0	2,248
66	62	128	0	0	137,517
0	0	0	0	0	30,487
0	0	0	0	0	9,824
0	0	0	0	0	5,621
2	2	4	0	0	4,442
0	411	411	0	0	411
11	11	22	0	0	31,628
0	0	0	0	0	370
0	0	0	0	0	3,726
10	90	100	0	0	4,151
0	0	0	0	0	1,930
107	0	107	0	0	12,068
0	0	0	0	0	380
0	0	0	0	0	250
0	0	0	0	0	150
10	10	20	0	0	5,749
10	10	20	0	0	720
0	0	0	0	0	4,007
10	10	20	0	0	2,149
79	0	79	0	0	4,949
2	2	4	0	0	4,807
0	0	0	0	0	1,620
7	0	7	0	0	1,853
0	0	0	0	0	2,853
2	0	2	0	0	3,849

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				
	看護センター各事業	訪問看護Ⅰ事業	介護支援Ⅰ事業	複合型事業	小 計
支 払 負 担 金	20	188	90	130	428
委 託 費	5,241	2,028	74	620	7,963
支 払 利 息	0	1	0	0	1
支 払 手 数 料	430	176	5	35	646
雑 費 入	10	100	10	20	140
賞 与 引 当 金 繰 入	1,507	3,274	550	2,400	7,731
管 理 費	0	0	0	0	0
役 員 報 酬	0	0	0	0	0
給 料 手 当	0	0	0	0	0
中 退 金 繰 入 額	0	0	0	0	0
職 員 福 利 厚 生 費	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0
旅 費	0	0	0	0	0
通 信 費	0	0	0	0	0
減 価 償 却 費	0	0	0	0	0
消 耗 品 費	0	0	0	0	0
修 繕 費	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0
燃 料 費	0	0	0	0	0
光 熱 水 料 費	0	0	0	0	0
賃 借 料	0	0	0	0	0
保 険 料	0	0	0	0	0
租 税 公 課	0	0	0	0	0
支 払 負 担 金 費	0	0	0	0	0
支 払 手 数 料	0	0	0	0	0
雑 費	0	0	0	0	0
経 常 費 用 計	82,647	119,819	12,367	78,911	293,744
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,839	△ 1,910	△ 1,884	2,928	△ 6,705
損 益 評 価 等 計	0	0	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△ 5,839	△ 1,910	△ 1,884	2,928	△ 6,705
2. 経常外増減の部					
(1) 経 常 外 収 益					
経 常 外 収 益 計	0	0	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用					
法 人 税 等	0	0	0	0	0
経 常 外 費 用 計	0	0	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	0	0
他 会 計 振 替 額	90	130	13	86	319
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 5,749	△ 1,780	△ 1,871	3,014	△ 6,386
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	171,880	133,326	△ 11,383	18,945	312,768
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	166,131	135,980	△ 13,254	21,959	306,382
II 指定正味財産増減の部					
受 取 補 助 金 等	0	0	0	0	0
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	0	0	0	0	0
受 取 県 補 助 金	0	0	0	0	0
受 取 寄 付 金	1,000	0	0	0	1,000
募 金 収 益	1,000	0	0	0	1,000
施 設 維 持 管 理 資 金 抛 出 金	1,000	0	0	0	1,000
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 4,789	△ 1,061	0	△ 36	△ 5,886
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 4,789	△ 1,061	0	△ 36	△ 5,886
地 方 公 共 団 体 補 助 金	0	△ 1,061	0	△ 36	△ 1,097
寄 付 金	△ 4,789	0	0	0	△ 4,789
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△ 3,789	△ 1,061	0	△ 36	△ 4,886
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	226,186	9,948	0	56	236,190
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	222,397	8,887	0	20	231,304
III 正味財産期末残高	388,528	144,867	△ 13,254	21,979	537,686

(単位：千円)

収 益 事 業 等 会 計			法 人 会 計	内 部 取 引 消 去	合 計
収 入	他 入	小 計	法 人 会 計	一 般 事 業	
0	0	0	0	0	428
99	306	405	0	0	8,368
0	0	0	0	0	1
2	1	3	0	0	649
0	0	0	0	0	140
4	3	7	0	0	7,738
0	0	0	26,929	0	26,929
0	0	0	10,349	0	10,349
0	0	0	5,830	0	5,830
0	0	0	250	0	250
0	0	0	1,979	0	1,979
0	0	0	66	0	66
0	0	0	2,012	0	2,012
0	0	0	235	0	235
0	0	0	988	0	988
0	0	0	225	0	225
0	0	0	100	0	100
0	0	0	740	0	740
0	0	0	10	0	10
0	0	0	719	0	719
0	0	0	287	0	287
0	0	0	54	0	54
0	0	0	14	0	14
0	0	0	468	0	468
0	0	0	1,879	0	1,879
0	0	0	20	0	20
0	0	0	20	0	20
421	918	1,339	26,929	0	322,012
676	82	758	100	0	△ 5,847
0	0	0	0	0	0
676	82	758	100	0	-5,847
0	0	0	0	0	0
81	0	81			81
81	0	81	0	0	81
△ 81	0	△ 81	0	0	△ 81
△ 319	0	△ 319	0	0	0
276	82	358	100	0	△ 5,928
9,209	1,300	10,509	99,874	0	423,151
9,485	1,382	10,867	99,974	0	417,223
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	1,000
0	0	0	0	0	1,000
0	0	0	0	0	1,000
△ 107	0	△ 107	△ 984	0	△ 6,977
△ 107	0	△ 107	△ 984	0	△ 6,977
0	0	0	0	0	△ 1,097
△ 107	0	△ 107	△ 984	0	△ 5,880
△ 107	0	△ 107	△ 984	0	△ 5,977
3,276	0	3,276	30,102	0	269,568
3,169	0	3,169	29,118	0	263,591
12,654	1,382	14,036	129,092	0	680,814

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類

(1) 資金調達の見込みについて

当期中に資金調達の見込みはありません。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中に設備投資の見込みはありません。

期間限定

公益社団法人 佐賀県看護協会 主催事業

今回が
ラストです!

2025.7/4(金)～2025.8/24(日)に限り ※休園日は除く。

※対象外日程:7月19日～7月21日、8月9日～8月16日

サンリオキャラクターパーク ハーモニーランド

無料ご招待

【会員とご同行者様併せて2名まで対象】

入園+アトラクション利用のパスポートチケット(通常1名 3,600円)が無料!

※一部アトラクションは
別料金となります。



※イベント内容については中止・変更もございます。ご利用時はハーモニーランドホームページにて事前にご確認ください。

ご利用方法

下記利用申請書に必要事項をご記入の上、必ず「佐賀県看護協会
会員証または、電子会員証」と一緒にハーモニーランドチケット
売場に提示してください。入園とアトラクション利用のパスポート
チケットをお渡しいたします。

※「利用申請書」のみの提示、または「会員証」のみの提示では本企画をご利用できません。必ず、「利用申請書」
「会員証」の2つを一緒に提示してください。

※当日の申請は1回のみ、会員含め2名までとなり2名を超える場合は同伴者特別割引をご利用ください。

※企画内容・利用申請書の記載方法に関しては、協会窓口へお問合せください。(tel.0952-68-3299)

アクセスMAP



営業時間・イベント情報はホームページで!

ハーモニーランド



ハーモニーランド営業課

tel.0977-73-1155

(営業時間内)

Harmonyland

大分県速見郡日出町大字
藤原5933(国道10号線沿)

© 2025 SANRIO CO., LTD.

ハーモニーランド無料ご招待企画は、今回の夏の実施をもちまして
終了とさせていただきます。長らくのご利用ありがとうございました。

切り取り

佐賀県看護協会 会員専用 ハーモニーランド 利用申請書

(会員代表者を含む2名様まで)

【対象期間】2025年7月4日(金)～2025年8月24日(日)

※休園日は除く。

※対象外日程:7月19日～7月21日、8月9日～8月16日

コピー不可



P327

ご利用日	会員番号
会員氏名	同行者氏名

※対象外日程:7月19日～7月21日、8月9日～8月16日

※会員代表者を含む2名様までご利用可能です

※期間中1会員1回のみ申請可能です

会員 ご利用合計数 (4歳以上)	名様
------------------------	----

同伴者
割引申請

※無料ご招待2名を超える場合は、特別割引料金1名2,000円でパスポートチケットをご購入頂けます
※同伴者割引は、申請の際のみご購入対応とさせていただきます
※同伴者割引は5名まで有効となります

同伴者割引 ご利用合計数 (4歳以上)	名様
---------------------------	----

P308-5

協会からのお知らせ

●研修会受講料について

令和7年6月開催の研修より、受講料を前納されていない方は、振込手数料が本人負担となります。ご了承ください。

理事会等報告

常任理事会 令和7年1月27日(月)

1. 理事会打合せ(2/1(土)開催)について
2. 令和7年度佐賀県看護協会重点事業(案)について
3. 2024年度佐賀県看護研究学会について
4. 2025年度研修一覧企画(案)について
5. 事業報告(4月～12月)について
6. その他
 - 1) 2026年度 日本看護協会通常総会開催地・日程・代議員数について
 - 2) 看護学校等卒業前訪問について

理事会 令和7年2月1日(土)

協議事項の審議

1. 令和7年度佐賀県看護協会重点事業(案)について
2. 2024年度佐賀県看護研究学会について
3. 2025年度教育計画企画(案)について

報告事項

1. 事業報告(4月～12月)
2. 都道府県看護協会健康危機管理担当者会議(12/19Web開催)
3. 特別委員会報告
 - 1) 災害看護委員会(12/10開催)
 - 2) 医療・看護安全推進委員会・交流会(R6.12/3、12/14開催)
 - 3) 認定看護管理者教育運営委員会(1/15開催)
4. その他
 - 1) 2026年度日本看護協会通常総会開催地・日程・代議員数について
 - 2) 看護学校卒業前訪問 について
 - 3) その他

常任理事会 令和7年3月3日(月)

1. 理事会打合せ(3/8(土)開催)について
2. 令和7年度佐賀県看護協会通常総会(案)について
3. 令和6年度補正予算(案)について
4. 職員給与規程の一部改正(案)について
5. 職員就業規則の一部改正(案)について
6. 定款細則の一部改正(案)について
7. 入会金取扱いに関する規程の一部改正(案)について
8. 職業紹介事業業務の運営に関する規定の一部改正(案)について
9. 令和7年度事業計画(案)について
10. 令和7年度収支予算(案)について
11. その他

理事会 令和7年3月8日(土)

協議事項の審議

1. 令和7年度佐賀県看護協会通常総会(案)について
2. 令和6年度補正予算(案)について
3. 職員給与規程の一部改正(案)について

4. 職員就業規則の一部改正(案)について
5. 定款細則の一部改正(案)について
6. 入会金取扱いに関する規程の一部改正(案)について
7. 職業紹介事業業務の運営に関する規定の一部改正(案)について
8. 人事(事業部長)(案)について
9. 令和7年度事業計画(案)について
10. 令和7年度収支予算(案)について

報告事項

1. 全国会議報告
 - 1) 日本看護協会理事会報告(2/27・28開催)
 - 2) 全国基礎教育担当役員会議(2/4Web)
2. 特別委員会報告
 - 1) 医療・看護安全推進委員会(2/10開催)
 - 2) 看護夢ナビ事業推進委員会(2/17開催)
 - 3) 災害看護委員会(2/12開催)
3. その他
 - 1) 第43回佐賀県看護研究学会係員必携について
 - 2) 2025年度行事予定日程予定表について
 - 3) その他

常任理事会 令和7年4月14日(月)

1. 理事会打合せ(4/19(土)開催)について
2. 定款及び定款細則の一部改正(案)について
3. 令和7年度役員改選(案)及び推薦委員(案)について
4. 令和8年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者(案)について
5. 令和7年度職能委員会委員・常任委員会委員の選任、特別委員会委員の交代(案)について
6. その他

理事会 令和7年4月19日(土)

協議事項の審議

1. 定款及び定款細則の一部改正(案)について
2. 令和7年度役員改選(案)及び推薦委員(案)について
3. 令和8年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者(案)について
4. 令和7年度職能委員会委員・常任委員会委員の選任、特別委員会委員・職能委員会委員の交代(案)について

報告事項

1. 全国職能委員長会報告(3/7開催)
2. 特別委員会等会議報告
 - 1) 看護制度委員会(3/13開催)
 - 2) 認定看護管理者教育運営委員会(3/26開催)
3. その他
 - 1) 看護の日イベントについて
 - 2) 佐賀県委託事業一覧・日程について
 - 3) 2025年度 行事日程予定表について

編集後記

早いもので新年度が始まり2か月が過ぎようとしています。新しい環境には慣れてきましたでしょうか？今月の表紙は「川上峡のこいのぼり」です。悠々自適に風になびかれる、こいのぼりを見て気持ちよさそうだな～と思いました。仕事に疲れた時は何もせず風に身を任せてみるのもいいかもしれませんね。

広報出版委員会 永岡茜 生田恵美 吉村あゆみ 加賀洋江 田中淳 原田雅也

URL: <http://www.saga-nurse.org>

